

長野県にふさわしい緑化木

～70種～

種 名	記載ページ	種 名	記載ページ
アオハダ (モチノキ科)	156	コムラサキ (クマツヅラ科)	174
アカシデ (カバノキ科)	119	サワラ (ヒノキ科)	112
アカマツ (マツ科)	107	シデコブシ (モクレン科)	130
アズキナシ (バラ科)	144	シナノキ (シナノキ科)	157
アスナロ (ヒノキ科)	114	シラカンバ (カバノキ科)	118
アセビ (ツツジ科)	173	ソヨゴ (モチノキ科)	155
アンズ (バラ科)	139	タムシバ (モクレン科)	132
イタヤカエデ (カエデ科)	152	ダンコウバイ (クスノキ科)	133
イチイ (イチイ科)	115	ツガ (マツ科)	109
ウダイカンバ (カバノキ科)	117	トチノキ (トチノキ科)	154
ウラジロモミ (マツ科)	108	トネリコ (モクセイ科)	163
ウリハダカエデ (カエデ科)	151	ナツツバキ (ツバキ科)	136
エゴノキ (エゴノキ科)	162	ナナカマド (バラ科)	143
エゾムラサキツツジ (ツツジ科)	169	ニオイヒバ (ヒノキ科)	113
エドヒガン (バラ科)	140	ニシキギ (ニシキギ科)	166
エノキ (ニレ科)	126	ハウチワカエデ (カエデ科)	150
オオバボダイジュ (シナノキ科)	158	ハナノキ (カエデ科)	148
オオモミジ (カエデ科)	149	ハルニレ (ニレ科)	128
オオヤマザクラ (バラ科)	141	ヒノキ (ヒノキ科)	111
オトメリンゴ (バラ科)	146	ヒメシャラ (ツバキ科)	137
カシワ (ブナ科)	122	ブナ (ブナ科)	120
カスミザクラ (バラ科)	142	ホオノキ (モクレン科)	129
カツラ (カツラ科)	135	マユミ (ニシキギ科)	167
ガマズミ (スイカズラ科)	175	マルバノキ (マンサク科)	164
カラムツ (マツ科)	106	マンサク (マンサク科)	138
カリン (バラ科)	145	ミズナラ (ブナ科)	123
キハギ (マメ科)	165	ミツバツツジ (ツツジ科)	171
キハダ (ミカン科)	147	ムクゲ (アオイ科)	168
クヌギ (ブナ科)	121	メグスリノキ (カエデ科)	153
クリ (ブナ科)	125	ヤマグルマ (ヤマグルマ科)	134
ケヤキ (ニレ科)	127	ヤマツツジ (ツツジ科)	170
コウヤマキ (コウヤマキ科)	110	ヤマハンノキ (カバノキ科)	116
コシアブラ (ウコギ科)	160	ヤマボウシ (ミズキ科)	159
コナラ (ブナ科)	124	リョウブ (リョウブ科)	161
コブシ (モクレン科)	131	レンゲツツジ (ツツジ科)	172

樹種名：カラマツ（マツ科）（学名 *Lalix kampferi*）

□ポイント

カラマツは、北原白秋の詩にも詠まれる長野県を代表する針葉樹です。北海道などのカラマツは長野県がふるさとです。

- 生活 落葉針葉樹 樹高 30m
- 景観特性 風致木 庭園木
- 自然分布 県内産地（標高 1,000～2,800m）
- 生長 生長は早い
- 萌芽力 中程度
- 樹形 円錐型
- 葉の特徴 長さは 1～3cm で、線形。ラセン状に互生または束生し、秋に落葉する
- 幹の特徴 暗褐色で長い鱗片状に剥げる
- 花の特徴 雄花は、卵形～長卵形で黄緑色雌花は、卵形で赤みを帯びた淡緑色
- 果実の特徴 卵球形の球果で、上向きに着生し黄褐色。長さ 1～3cm
- 根の特徴 中間方で中大径の水平根が発達し外生菌根を持つ

□環境特性

- 土壌 砂質壤土～植壤土
- 耐陰性 最も日陰に耐えない
- 耐乾湿性 過質土壤に耐えない
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 弱い
- 耐風性 弱い
- 耐大気汚染性 弱い
- 耐塩性 弱い
- 環境指標 山火事跡地の指標になる



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性はきわめて不良。落葉樹の移植はやや容易
- 整枝・せん定 中
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 食葉性害虫（小蛾類、ハバチ類）、穿孔性害虫類。条件によっては心材腐朽病害の発生に注意。野ネズミ（根部）、野ウサギ（地上部）の食害、ならたけ病、ツチクラゲ病
- 管理上の注意点 根元で焚き火を行わないこと。

□生物多様性への貢献

カラマツには、多くの野鳥がやって来ます。春から夏にかけては、シジュウカラ類が餌を探しに、秋から冬には、マヒワなどがカラマツの種子を食べに群れで現れます。真直ぐに伸びた梢は、ホオジロやビンズイなどがナワバリ宣言をするソングポストとしても使われます。



樹種名：アカマツ（マツ科）（学名 *Pinus densiflora*）

□ポイント

痩せ地で育つ樹種です。松くい虫被害により全国から優良なアカマツが姿を消しつつあります。長野県は、松茸生産日本一です。

- 生活形 常緑針葉樹 樹高 30m
- 景観特性 和風庭園の主木、風致木
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は早い
- 萌芽力 萌芽力は弱い
- 樹形 傘形型
- 葉の特徴 針形、二葉で長さ 7～10 cm でやわらかい。基部に葉鞘を持つ。濃緑色
- 幹の特徴 暗褐色で亀甲状に割れ目がある
- 花の特徴 雄花は楕円形、雌花は緑色楕円形
- 果実の特徴 球果は長さ 3～5cm 卵球形種子は翼をもつ
- 根の特徴 深根性で太い垂下根が発達する。外生菌根を持つ

□環境特性

- 土壌 壤土、堅密土壌に耐える
- 耐陰性 日陰に耐える
- 耐乾湿性 乾燥に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 弱い
- 耐火性 弱い
- 耐風性 弱い
- 耐大気汚染性 弱い
- 耐塩性 強くない
- 環境指標 地力の減少指標



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は不良、移植は比較的容易
- 整枝・せん定 5 月にミドリつみ後、11 月ごろ前年葉をつむ
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 吸汁性害虫（カイガラムシ類、アブラムシ類、ハダニ類）食葉性害虫（マツカレハ、ハバチ類）穿孔性害虫（カミキリムシ類、ゾウムシ類、キクイムシ類）マツノザイセンチュウ病、葉さび病、すす病、つちくらげ病等
- 管理上の注意点 夏場に強度のせん定を行わない。（翌年の衰弱につながる）
根の付近での焚き火をしない（つちくらげ病の原因）埋土しない。

□生物多様性への貢献

嘴の上下が合わず、交叉している珍しいイスカという野鳥がいます。イスカは、アカマツの種子が主食で、まつぼっくりから種子を取り出すのに便利のように、嘴が適応したと言われています。長野県には、冬鳥として飛来しますが、その数は年により大きく変わり、まったく見られない年もあります。

樹種名：ウラジロモミ（マツ科）（学名 *Abies homolepis*）

□ポイント

諏訪大社御柱祭の御神木には、総称してモミとされていますが、ウラジロモミが利用されています。葉の裏側が白いためこの名が付けました。モミに似ていますが、葉先はモミほど鋭く二裂していません。

- 生活形 常緑針葉樹 樹高 30～40m
- 景観特性 風致木・庭園樹
- 自然分布 県内山地（中信地域が主）
- 生長 初期生長は遅いが、若木は早い。
- 萌芽力 萌芽力は弱い。
- 樹形 円錐形
- 葉の特徴 葉は微凹頭で互生して2列に並ぶ。若木の葉は、針状に2裂する。
- 幹の特徴 樹皮は暗灰色。鱗片状に浅く割れてはげる。若い枝にも毛がない。
- 花の特徴 雄花は長楕円形で前年枝に群着雌花は小枝に直立して単生する。
- 果実の特徴 褐紫色で円頭円柱形の球果枝に直立していく。
- 根の特徴 深根性で太い水平根、垂直根を持つ。中細根が少ない。外生菌根

□環境特性

- 土壌 砂質壤土～埴質壤土
- 耐陰性 日陰に耐える
- 耐乾湿性 中
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 強い
- 耐火性 弱い
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 弱い
- 耐塩性 弱い
- 環境指標 環境悪化の指標になり得る



□施工及び管理性

- 移植の難易度 発根性は小さく、移植には十分な根回しが必要
- 整枝・せん定 整枝・せん定に耐えない
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 15年生程度の若木は白紋羽病に注意。コガネムシ幼虫による食害、食葉性害虫類など。
- 管理上の注意点 夏場に施肥を行わない。（枯損の原因になる場合がある）埋土、深植えは長生不良の原因となる。

樹種名：ツガ（マツ科）（学名 *Tsuga sieboldii*）

□ポイント

モミに似ています。森林では、モミが山腹に生育するのに対して、ツガは尾根筋によく生育します。葉は扁平な針状で先端が二つに分かれています。モミは葉の先端が尖っていますが、ツガは丸まっています。

- 生活形 常緑針葉樹 樹高 30m
- 景観特性 庭園樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 中
- 萌芽力 中
- 樹形 円錐型
- 葉の特徴 短柄でやや羽状に着生。扁平な線形
- 幹の特徴 灰色で深く縦裂
- 花の特徴 雄花は長卵形、雌花は長卵形で紫色
- 果実の特徴 褐色長卵形で長さ 2～3cm の球果
- 根の特徴 浅根性で中大怪の射出根、水平根、外生菌根を持つ

□環境特性

- 土壌 乾燥性土壌に耐える
- 耐陰性 日陰に耐える
- 耐乾湿性 乾燥に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 弱い
- 耐風性 ある
- 耐大気汚染性 弱い
- 耐塩性 弱い
- 環境指標 環境悪化の指標になり得る



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は不良、十分な根回しを行えば移植は比較的容易
- 整枝・せん定 中
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 食葉性害虫（ツガカレハなど）、さび病、てんぐ巣病
- 管理上の注意点 夏場に施肥を行わない。（枯損の原因になる場合がある）



樹種名：コウヤマキ（コウヤマキ科）（学名 *Sciadopytis verticillata*）

□ポイント

世界三大造園木の一つとされ、木曾五木の一つに数えられています。名前は、高野山に多く生えていたことに由来します。

- 生活形 常緑針葉樹 樹高 30m
- 景観特性 生け垣、庭園木、並木
- 自然分布 県内南部山地
- 生長 生長は遅い
- 萌芽力 中
- 樹形 円錐型
- 葉の特徴 平狭線形で厚く長さ 6～12cm で、15～40 本の葉が輪生している
- 幹の特徴 灰褐色で樹皮は厚く、繊維質で縦溝がある
- 花の特徴 雄花は黄褐色の楕円形で 20～30 が密生する。雌花は楕円形
- 果実の特徴 楕円形の球果で熟するのに 2 年かかる。色は褐色
- 根の特徴 浅根性で垂下根は短く水平分布も狭い。内生菌根を持つ

□環境特性

- 土壌 酸性土壌に耐える
- 耐陰性 最も日陰に耐える
- 耐乾湿性 乾燥に耐える。過湿をきらう
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 強い
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 中
- 耐塩性 中
- 環境指標



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は極めて不良、十分な根回しと適期の移植が必要
- 整枝・せん定 中
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 黒斑病
- 管理上の注意点 せん定を行わなくても樹形は整う。移植する場合、過湿な土壌への移植はさける。（なるべく移植は行わない。）

樹種名：ヒノキ(ヒノキ科) (学名 *Chamaecyparis obtusa*)

□ポイント

木曽五木の代表的な種で、木曽のヒノキ林は日本三大美林の一つです。材の形質に優れ、古事記のスサノオ神話の中でも建築材としての利用が示唆されています。

- 生活形 常緑針葉樹 樹高 30m
- 景観特性 生け垣
- 自然分布 南信山地
- 生長 生長は早い
- 萌芽力 萌芽力は強い
- 樹形 円錐型
- 葉の特徴 鱗片状で密に十字対生。下面に Y 字状の気孔線がある
- 幹の特徴 赤褐色でやや幅広く縦に長い裂片で剥がれる
- 花の特徴 雄花は楕円形、紫褐色雌花は球形、小枝の先に単生
- 果実の特徴 球形の球果で 8～12 mm
- 根の特徴 浅根性で小中怪の射出根、水平根が多く発達する。内生菌根

□環境特性

- 土壌 壤土、浅い土壌に耐える
- 耐陰性 最も日陰に耐える
- 耐乾湿性 比較的乾燥に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 弱い
- 耐風性 弱い
- 耐大気汚染性 中
- 耐塩性 弱い
- 環境指標 環境悪化の指標になり得る



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、移植は容易
- 整枝・せん定 枝がのびてから刈ると枝枯れをおこす
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 ウチジロマイマイ、さび病、葉ふるい病、ならたけ病など
- 管理上の注意点 夏場に施肥を行わない。(枯損の原因になる場合がある)



樹種名：サワラ（ヒノキ科）（学名 *Chamaecyparis pisifera*）

□ポイント

ヒノキに似ていますが、葉の裏側が X（ヒノキは Y）の模様をしている木曽五木の一つです。葉には殺菌作用があり、松茸などの敷物に利用されます。

- 生活形 常緑針葉樹 樹高 30m
- 景観特性 生け垣、庭園樹
- 自然分布 南信山地
- 生長 生長は早い。
- 萌芽力 萌芽力は強い
- 樹形 円錐形
- 葉の特徴 葉は、鱗片状で十字対生。下面の気孔線が X にみえ、葉先が尖る
- 幹の特徴 樹皮は灰褐色でヒノキより幅狭く剥がれる
- 花の特徴 雄花は楕円形、紫褐色雌花は球形、小枝の先に単生
- 果実の特徴 球果で球形
- 根の特徴 浅根性で小中怪の射出根、水平根が多く発達する。内生菌根

□環境特性

- 土壌 壤土、堅密土壌に耐える
- 耐陰性 やや日陰に耐える
- 耐乾湿性 湿地に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 中
- 耐風性 弱い
- 耐大気汚染性 中
- 耐塩性 中



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、移植は容易
- 整枝・せん定 6～7月、9月に刈り込み
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 ウチジロマイマイ、さび病、葉ふるい病、ならたけ病
- 管理上の注意点 夏場に施肥を行わない。（枯損の原因になる場合がある）

樹種名：ニオイヒバ（ヒノキ科）（学名 *Thuja occidentalis*）

□ポイント

北米が原産の樹種で、明治中期に日本に導入され、広く造園に利用されています。ニオイヒバは香りのあるヒバの意です。

- 生活形 常緑針葉樹 樹高 30m
- 景観特性 生け垣
- 自然分布 北米
- 生長 生長は早い
- 萌芽力 萌芽力は強い
- 樹形 円錐型
- 葉の特徴 鱗片状で十字対生。葉の樹脂囊にレモンに似た匂いの製油を含む
- 幹の特徴 赤褐色で縦に薄く剥げる
- 花の特徴 雄花、雌花ともに小枝に頃生する
- 果実の特徴 球果は楕円形で頂下に小角がある
- 根の特徴 浅根性で中大怪の射出根、水平根が多く発達する。内生菌根

□環境特性

- 土壌 土壌を選ばない
- 耐陰性 やや日陰に耐える
- 耐乾湿性 適湿地を好む
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 中～小
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 弱い
- 耐塩性 弱い
- 環境指標 環境悪化の指標になり得る



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、移植は容易
- 整枝・せん定 強度の整枝・せん定に耐える
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 オオミノガ、カイガラムシ類、アブラムシ類、胴枯病
- 管理上の注意点 夏場に施肥を行わない。（枯損の原因になる場合がある）



樹種名：アスナロ（ヒノキ科）（学名 *Thujopsis dolabrata*）

□ポイント

ヒノキに似ていますが、枝や葉がより幅広です。木曾五木の一つで、翌檜の名称の由来が「明日（はヒノキに）なろ（う）」の意とも言われています。井上靖は、明日は檜になろうと願いながら、永遠になりえない「あすなろ」の木の説話から、何者かになろうと夢を見、もがく人間の運命を活写した「あすなろ物語」を著しています。

■生活形	常緑針葉樹 樹高 30m
■景観特性	生け垣
■自然分布	南信山地
■生長	生長は遅い
■萌芽力	萌芽力是中
■樹形	円錐型
■葉の特徴	厚質の鱗片状でヒノキ、ネズコに比べ大型で葉裏の気孔帯が極めて明瞭
■幹の特徴	灰褐色で縦裂し薄く長く剥げる。剥げた樹皮は繊維質
■花の特徴	雄花は長球形 雌花は緑色卵形
■果実の特徴	球果で頂下は三角状に凸出し、鈎状になる
■根の特徴	浅根性で中大怪の射出根、水平根が発達する。内生菌根

□環境特性

■土壌	高アルカリ、酸性土壌に耐える
■耐陰性	最も日陰に耐える
■耐乾湿性	通気不良、湿性土壌に耐える
■耐寒性	強い
■耐雪性	ある
■耐火性	強い
■耐風性	ある
■耐大気汚染性	中
■耐塩性	中



□施工及び管理性

■移植の難易度	根回しによる発根性は中庸、移植は困難で十分な根回しが必要
■整枝・せん定	弱い
■防寒の必要性	不要
■管理上の注意点	夏場に施肥を行わない。（枯損の原因になる場合がある）

樹種名：イチイ（イチイ科）（学名 *Taxus cuspidata*）

□ポイント

昔、貴族の持つ「笏（しゃく）」を飛騨の位山（くらいやま）にあるこの木で作り、朝廷から官位の「一位」を賜ったことから「一位」の名になったと言われています。「ゲド戦記」で、最初にハイタカが愛用していた杖は「イチイの木」でできた杖とされています。

- 生活形 常緑針葉樹 樹高 20m
- 景観特性 生け垣・刈込・公園、庭園の主木
- 自然分布 県内亜高山帯（1,500～2,000m）
- 生長 生長は遅い
- 萌芽力 萌芽力は強い
- 樹形 円錐型
- 葉の特徴 線形、偏平で枝に2列に水平に並ぶ
- 幹の特徴 赤褐色で浅い割れ目がある
- 花の特徴 雄花は球形、雌花は緑色卵形
- 果実の特徴 赤い仮種皮をもつ多肉果種子は有毒
- 根の特徴 深根性で射出根が多い。内生菌根を持つ

□環境特性

- 土壌 壤土、堅密土壌に耐える
- 耐陰性 最も日陰に耐える
- 耐乾湿性 乾燥に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 中
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 中
- 耐塩性 中
- 環境指標 環境悪化の指標になり得る



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は不良、移植は比較的容易
- 整枝・せん定 強度の整枝・せん定に耐える
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 15年生程度の若木は白紋羽病に注意。コガネムシ幼虫による根部食害、トドマツハダニ、カイガラムシ類など
- 管理上の注意点 夏場に施肥を行わない。（枯損の原因になる場合がある）

□生物多様性への貢献

イチイの赤い実は、ヤマガラ、ムクドリ、ヒヨドリなど多くの野鳥に好まれています。場所などの条件によっては、カケス、シロハラなどのツグミ類もやって来ます。また、樹冠が込んでいて、外敵から見えにくいことからか、オナガやヒヨドリの営巣木としても使われます。

樹種名：ヤマハンノキ（カバノキ科）（学名 *Alnus hirsuta* Turcz.）

□ポイント

根には、放線菌が共生し、窒素固定を行います。このため、比較的痩せた土地でも生育します。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 20m.
- 景観特性 砂防・治山樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は早い
- 萌芽力 萌芽力は弱い
- 樹形 円筒型
- 葉の特徴 互生し、倒卵円形～倒心円形で基部は広いくさび形。細鋸歯
- 幹の特徴 樹皮は平滑で紫褐色を帯びる。灰色の皮目がある
- 花の特徴 雄花は花穂で着生し下垂し雌花は広楕円形でもとに紫褐色
- 果実の特徴 果穂は広楕円形種子には狭翼がある。
- 根の特徴 浅根性で土壌を包むような形で発達する。根粒菌を有し、外生菌根

□環境特性

- 土壌 やせ地に耐える
- 耐陰性 日陰に耐えない
- 耐乾湿性 乾燥に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 弱い
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 弱～中
- 耐塩性 弱い
- 環境指標 環境悪化の指標になり得る。



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は不良、若木の移植は比較的容易だが壮齢木は難
- 整枝・せん定 弱い
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 穿孔性害虫（コウモリガ、カミキリムシ類）マイマイガ、胴枯病、うどんこ病

□生物多様性への貢献

ヤマハンノキでよく見かける野鳥に、アオジやノジコがいます。

ヤマハンノキを好んで飛んでくるといよりは、ヤマハンノキが生育している環境と、アオジ、ノジコが生活上好む環境が同じからではないからかと考えられています。

また、ミドリシジミ（里山の蝶）の食草となります。里山に連続する箇所緑化木に使用した場合に発生に貢献する可能性があります。

樹種名：ウダイカンバ（カバノキ科）（学名 *Betula maximowicziana*）

□ポイント

シラカンバに似ていますが、森林では、樹高35mにも及び、スペード形の葉は大型です。鶉飼いの際、松明（たいまつ）に樹皮を用いたので「鶉松明樺」とも記されます。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 20m.
- 景観特性 公園樹、庭園樹、風致木
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は早い。
- 萌芽力 萌芽力は中
- 樹形 卵型
- 葉の特徴 互生し、三角状広卵形で鋭尖頭、基部は円形部。不整重鋸歯
- 幹の特徴 樹皮は平滑で白色薄く紙状に剥がれる
- 花の特徴 雄花、雌花ともに花穂で下垂す
- 果実の特徴 果穂は広楕円形種子には狭翼がある
- 根の特徴 浅根性で地表に沿って発達する。外生菌根

□環境特性

- 土壌 酸性土壌に耐える。砂壤土
- 耐陰性 中
- 耐乾湿性 乾燥に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 弱い
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 弱い
- 耐塩性 弱い

□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は不良、若木の移植は比較的容易だが壮齢木は困難
- 整枝・せん定 せん定せず自然樹形を生かす。
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 穿孔性害虫（コウモリガ、カミキリムシ類）マイマイガ、胴枯病、うどんこ病

□生物多様性への貢献

エルタテハ、キベリタテハ（ともに高原の蝶）の食草となります。概ね 1,000m以上の標高の地域において緑化木に使用した場合に発生に貢献する可能性があります。



樹種名：シラカンバ（カバノキ科）（学名 *Betula platyphlla* Sukatchev var. *japonica*）

□ポイント

長野県の県木、高原を代表する陽樹。樹皮は容易に着火し、天然の着火剤として利用され、樹液はキシリトールの原料にもされています。演歌「北国の春」にも歌われますが、シラカバは通称です。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 20m.
- 景観特性 公園樹、庭園樹、街路樹、風致木
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は早い。
- 萌芽力 萌芽力は中
- 樹形 卵型
- 葉の特徴 互生し、三角状広卵形で鋭尖頭、基部は円形部。不整重鋸歯
- 幹の特徴 樹皮は平滑で白色薄く紙状に剥がれる
- 花の特徴 雄花、雌花とは花穂で着生し下垂する
- 果実の特徴 果穂は広楕円形種子には狭翼がある
- 根の特徴 浅根性で地表に沿って発達する。外生菌根

□環境特性

- 土壌 酸性土壌に耐える。砂壤土
- 耐陰性 日陰に耐えない
- 耐乾湿性 乾燥に耐えない
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 弱い
- 耐風性 中～小（過湿地では風倒が多い）
- 耐大気汚染性 弱～中
- 耐塩性 弱い
- 環境指標 山火事跡地などで純林をなす



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は不良、若木の移植は比較的容易だが壮齢木は困難
- 整枝・せん定 弱い
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 穿孔性害虫（コウモリガ、カミキリムシ類）、マイマイガ、胴枯病、うどんこ病

□生物多様性への貢献

ごく普通に見られるキツツキの仲間にアカゲラがいます。アカゲラは、なぜか枯れたシラカンバの幹や枝に好んで穴をあけ、巣をつくります。あけた穴を使っている場合は、穴の入口の下側が、尾によって少し樹皮が剥がれ、色が変わるので判別できます。

アカゲラの古家は、ゴジュウカラ、コガラなどが使用することがあります。

また、エルタテハ、キベリタテハ（ともに高原の蝶）の食草となります。概ね 1,000m以上の標高の地域において緑化木に使用した場合に発生に貢献する可能性があります。

樹種名：アカシデ（カバノキ科）（学名 *Carpinus laxiflora*）

□ポイント

和名の「アカ」は、若芽が赤く、秋に美しく紅葉することから、「シデ」は、注連縄（しめなわ）などに使われる紙垂（しで）を差し、花穂の垂れ下がる様子が似ているためとされています。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 20m.
- 景観特性 公園樹、庭園樹、風致木
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は早い
- 萌芽力 萌芽力是中
- 樹形 卵型
- 葉の特徴 卵形で鋭尖頭、葉裏の脈上に有毛、円脚で若葉は葉柄が赤い、細重鋸歯
- 幹の特徴 樹皮は灰褐色で平滑
- 花の特徴 雄花は打紐状上の花穂で下垂する。雌花は花穂で上向き着生
- 果実の特徴 果穂は広卵状三角形種子には狭翼がある。
- 根の特徴 浅根性で少数の太い水平根と射出根が特徴。外生菌根

□環境特性

- 土壌 適潤地を好む
- 耐陰性 日陰に耐えない
- 耐乾湿性 中。適潤地を好む
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 弱い
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 弱い
- 耐塩性 弱い



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は不良、若木の移植は比較的容易だが壮齢木は困難
- 整枝・せん定 弱～中
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 穿孔性害虫（コウモリガ、カミキリムシ類）、マイマイガ、胴枯病、うどんこ病

樹種名：ブナ（ブナ科）（学名 *Fagus crenata*）

□ポイント

ブナ林は、北日本の代表的な広葉樹で、飯山市や野沢温泉村などでは、市町村木に指定されています。ヨーロッパでは、ブナ林を「森の母」と呼んでいます。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 30m
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は遅い
- 萌芽力 萌芽力は中
- 樹形 卵型（箒状）
- 葉の特徴 互生し、左右不等の広卵形で基部は鈍形で波状鋸を持つ
- 幹の特徴 樹皮は灰白色で平滑。地衣類が付着して斑紋状になる
- 花の特徴 雄花は花序様で下垂する。2つの雌花が総包で包まれる
- 果実の特徴 殻に包まれたプリズム形の円錐形の堅果。食用
- 根の特徴 浅根性で中小怪の射出根が複雑に交錯する。外生菌根を持つ



□環境特性

- 土壌 植壤土、アルカリ土壤に耐える
- 耐陰性 日陰に耐える
- 耐乾湿性 中
- 耐寒性 寒さに強い。苗木は寒風に弱い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 弱い
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 弱い
- 耐塩性 弱い
- 環境指標 環境悪化の指標になり得る



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性はやや良好、移植はやや容易
- 整枝・せん定 耐えない
- 防寒の必要性 不要（苗木では必要）
- 病虫獣害 アブラムシ類、カイガラムシ類、カミキリムシ類など

□生物多様性への貢献

フジミドリシジミ（高原の蝶）の食草となります。ただし、産地が限定され、森林性が強い種のため、緑化木に発生する可能性はあまりありません。

樹種名：クヌギ（ブナ科）（学名 *Quercus acutissima*）

□ポイント

長野県の里山を代表する広葉樹の一つです。樹皮は暗い灰褐色で、厚いコルク状をしており、一部から樹液が滲み出ます。この樹液には、カブトムシやクワガタムシなどの甲虫類、オオムラサキなどの蝶類が集まります。ドングリも様々な生物の餌となります。木材は、キノコのほだぎにもなります。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 20m.
- 景観特性 公園樹、風致木
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長はやや早い
- 萌芽力 萌芽力は強い
- 樹形 卵型（箒状）
- 葉の特徴 互生し、鋭尖頭の狭長楕円形で基部は円形。波状鋸歯を持つ
- 幹の特徴 樹皮は暗い灰褐色で堅く深い縦溝がある
- 花の特徴 雄花は黄褐色の花穂で下垂する。雌花は新枝に腋生する
- 果実の特徴 椀状の総包に包まれた卵球形の堅果。ドングリの中でも最も大きい
- 根の特徴 深根性で射出根の基部から太い垂下根がでる。外生菌根を持つ

□環境特性

- 土壌 地質を選ばず、堅密土壌に耐える
- 耐陰性 やや日陰に耐えない
- 耐乾湿性 乾燥に耐える。水湿地に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 強い
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 強い
- 耐塩性 中



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は不良、移植はやや容易
- 整枝・せん定 強度の整枝・せん定にさける
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 うどんこ病、褐班病、カミキリムシ類、コウモリガ
- 管理上の注意点 幼齢期は窒素の要求度が強いので、早春に施肥

□生物多様性への貢献

ムラサキシジミ、アカシジミ、ウラナミアカシジミ、ミズイロオナガシジミ、ウラミスジシジミ、クロミドリシジミ、エゾミドリシジミ（以上、里山の蝶）、アイノミドリシジミ（高原の蝶）などの食草となります。

里山に連続する箇所緑化木に使用した場合に発生に貢献する可能性があります。

なお、クヌギの樹液にはオオムラサキをはじめとするタテハチョウやジャノメチョウの仲間、カブトムシ、スズメバチ、蛾が吸汁に訪れます。

樹種名：カシワ（ブナ科）（学名 *Quercus dentata*）

□ポイント

冬期に枯れ葉が落ちないことから、縁起木とされ、慶事、神事に使われています。防火性、耐火性に優れ、葉は柏餅に利用されます。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 20m.
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は中
- 萌芽力 萌芽力は中
- 樹形 卵型（箒状）
- 葉の特徴 互生し、倒卵形で深波状の粗大円頂牙齒を持つ。秋の秋に落葉しな
- 幹の特徴 樹皮は黒褐色で堅く、深い裂目がある。
- 花の特徴 雄花は黄褐色の花穂で下垂する。雌花は新枝に着生する
- 果実の特徴 総包に包まれた楕円球状の堅果
- 根の特徴 深根性で太い射出根が発達する。外生菌根を持つ

□環境特性

- 土壌 壤土、堅密土壌に耐える
- 耐陰性 日陰に耐えない
- 耐乾湿性 やや乾燥にも湿地にも耐える
- 耐寒性 中
- 耐雪性 ある
- 耐火性 強い
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 強い
- 耐塩性 強い

□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は不良、移植は比較的容易
- 整枝・せん定 中程度の整枝・せん定に耐える
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 うどんこ病、褐班病、カミキリムシ類、コウモリガ
- 管理上の注意点 夏場に施肥を行わない（枯損の原因になる場合がある）

□生物多様性への貢献

アカシジミ、ウラミスジシジミ、ミズイロオナガシジミ、オオミドリシジミ、エゾミドリシジミ（以上、里山の蝶）、ウスイロオナガシジミ、アイノミドリシジミ、ウラジロミドリシジミ、ハヤシミドリシジミ（以上、高原の蝶）などの食草となります。

里山などに連続する箇所緑化木に使用した場合には発生に貢献する可能性があります。

なお、宅地に植栽されたカシワからハヤシミドリシジミが発生した事例が報告されています。



樹種名：ミズナラ（ブナ科）（学名 *Quercus crispula*）

□ポイント

長野県の里山を代表する広葉樹の一つです。秋にはドングリが実り、多くの生物の餌となります。シイタケ栽培の原木などに利用されます。ドングリは灰汁抜きをすることによって食用になります。

■生活形	落葉広葉樹 樹高 20m.
■景観特性	公園樹、風致木
■自然分布	県内山地
■生長	生長はやや早い
■萌芽力	萌芽力は強い
■樹形	卵型（箒状）
■葉の特徴	互生し、鋭尖頭の倒卵形で葉柄がなく、尖頭粗鋭鋸歯を持つ
■幹の特徴	樹皮は暗い灰褐色で深い割目がある。表皮が剥がれる
■花の特徴	雄花は黄褐色の花穂で下垂する。雌花は新枝に腋生する
■果実の特徴	総包に包まれた長楕円形の堅果ドングリ
■根の特徴	深根性で数本の中大径の射出根と垂下根がある。外生菌根を持つ

□環境特性

■土壌	適潤肥沃地
■耐陰性	やや日陰に耐えない
■耐乾湿性	やや乾燥に耐える
■耐寒性	寒さに強い
■耐雪性	ある
■耐火性	強い
■耐風性	強い
■耐大気汚染性	中
■耐塩性	中



□施工及び管理性

■移植の難易度	根回しによる発根性はやや良好、移植は比較的容易
■整枝・せん定	強度の整枝・せん定にさける
■防寒の必要性	不要
■病虫獣害	うどんこ病、褐斑病、カミキリムシ類、コウモリガ
■管理上の注意点	夏場に施肥を行わない。（枯損の原因になる場合がある）

□生物多様性への貢献

ドングリを食する野鳥は、カケスなど多くいますが、オシドリもその代表です。他のカモよりも木の枝に止まることが多く、何よりもナラなどの洞に卵を産みヒナを育てます。庭木のナラで繁殖することはあまりありませんが、市街地の公園では繁殖した例があります。

また、ミヤマセセリ、ムラサキシジミ、アカシジミ、ウラナミアカシジミ、ミズイロオナガシジミ、ウラムシジミ、オオミドリシジミ、エゾミドリシジミ（以上、里山の蝶）、ウスイロオナガシジミ、アイノミドリシジミ、ジョウザンミドリシジミ（以上、高原の蝶）などの食草となります。

里山などに連続する箇所緑化木に使用した場合には発生に貢献する可能性があります。

樹種名：コナラ（ブナ科）（学名 *Quercus serrata*）

□ポイント

長野県の里山を代表する広葉樹の一つで、ミズナラより低標高域に生育します。シイタケ原木にも利用されています。嘗て、コナラのドングリはミズナラのドングリと並んで山村の貴重な食料で、山村周囲の森林には大量のドングリを実らせるコナラやミズナラの巨木が数多く自生していました。

■生活形	落葉広葉樹 樹高 20m
■景観特性	公園樹、風致木、工場緑化樹
■自然分布	県内山地
■生長	生長はやや早い
■萌芽力	萌芽力は中
■樹形	卵型（箒状）
■葉の特徴	互生し、鋭尖頭の倒卵形で基部は鋭形で尖頭粗鋭鋸歯を持つ
■幹の特徴	樹皮は暗い灰褐色で浅く縦裂する
■花の特徴	雄花は黄褐色の花穂で下垂する。雌花は新枝に腋生する
■果実の特徴	総包に包まれた長楕円形の堅果ドングリ
■根の特徴	深根性で数本の太い射出根と垂下根がある。外生菌根を持つ

□環境特性

■土壌	壤土、堅密土壌に耐える
■耐陰性	最も日陰に耐える
■耐乾湿性	やや乾燥に耐える
■耐寒性	寒さに強い
■耐雪性	ある
■耐火性	強い
■耐風性	強い
■耐大気汚染性	中
■耐塩性	中



□施工及び管理性

■移植の難易度	根回しによる発根性は良好、移植は比較的容易
■整枝・せん定	強度の整枝・せん定にさける。
■防寒の必要性	不要
■病虫獣害	うどんこ病、褐斑病、カミキリムシ類、コウモリガ
■管理上の注意点	夏場に施肥を行わない。（枯損の原因になる場合がある）

□生物多様性への貢献

ミヤマセセリ、ムラサキシジミ、アカシジミ、ミズイロオナガシジミ、ウラミスジシジミ、オオミドリシジミ、エゾミドリシジミ（以上、里山の蝶）、アイノミドリシジミ、ジョウザンミドリシジミ（以上、高原の蝶）などの食草となります。

里山に連続する箇所で緑化木に使用した場合には発生に貢献する可能性があります。

樹種名：クリ（ブナ科）（学名 *Castanea crenata*）

□ポイント

クリの実（栗）は、干した後に搗（つ）いて殻と渋皮を取り除きカチグリ（搗栗）として利用されてきました。このカチグリというのは名前が「勝ち」につながるため武家の縁起物とされてきました。材は、耐久性が高いことから鉄道の枕木や銃床の材料、また、漢字が「西」と「木」の組み合わせであることから西方浄土になぞらえて位牌などの仏具にも使用されます。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 30m
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 長生は中
- 萌芽力 萌芽力は中
- 樹形 卵型（箒状）
- 葉の特徴 互生し、鋭尖頭の楕円形で基部は浅心形で波状鋸歯を持つ。
- 幹の特徴 樹皮は暗い灰褐色で初めは平滑でのちに縦裂する。
- 花の特徴 雄花は黄白色で花穂で下垂し、独特の香気がある。雌花は球形
- 果実の特徴 イガに包まれた堅果。食用
- 根の特徴 深根性で数本の太い射出根と垂下根がある。外生菌根を持つ。

□環境特性

- 土壌 深い土壌を好む
- 耐陰性 日陰に耐えない
- 耐乾湿性 乾燥に耐える（適潤地を好む）
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 弱い
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 弱い
- 耐塩性 強い



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は不良、移植は比較的容易
- 整枝・せん定 整枝・せん定はできる
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 クリタマバチ、食用性害虫（クスサンなど）胴枯病など

□生物多様性への貢献

タテハチョウ科のヒョウモンチョウ類の蝶が花に吸蜜に集まります。

樹種名：エノキ（ニレ科）（学名 *Celtis sinensis* var. *japonica*）

□ポイント

古くは、万葉集にも登場します。縁起木であり、江戸時代には、街道の一里塚に植えられました。今も街道などに残る古木は、この名残かもしれません。

- 生活形 落葉広葉樹 標高 20m.
- 景観特性 公園樹、庭園樹、風致木
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は遅い
- 萌芽力 萌芽力は中
- 樹形 楕円形
- 葉の特徴 互生し、鋭尖頭の広卵状楕円形で基部を除いて低平鋸歯を持つ
- 幹の特徴 樹皮は暗い灰褐色または灰色でイボ状の突起がある
- 花の特徴 雄花は黄白色で花序をなす。雌花は新枝の葉腋に 1～3 個着生
- 果実の特徴 赤褐色の小球体で甘味がある多肉果
- 根の特徴 浅根性で水平根と紐状の垂下根が発達する。内生菌根を持つ

□環境特性

- 土壌 適潤埴壤土を好む
- 耐陰性 やや日陰に耐える
- 耐乾湿性 湿地に耐える
- 耐寒性 中
- 耐雪性 ある
- 耐火性 強い
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 弱い
- 耐塩性 中～強



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、移植は比較的容易
- 整枝・せん定 整枝・せん定ができる
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 マイマイガ、吸汁性害虫、穿孔性害虫、ベト病、うどんこ病

□生物多様性への貢献

エノキの実は多くの野鳥が好んで食べます。メジロ、ムクドリ、オナガ、ツグミ・アカハラ・シロハラなどのツグミ類、その他にアトリなどの小鳥もやって来ることがあります。

また、テングチョウ、ヒオドシチョウ、ゴマダラチョウ、オオムラサキ（以上、里山の蝶）、シータテハ（高原の蝶）などの食草となります。

ゴマダラチョウは、神社などの孤立木で発生している場合があり、里山に近い場所に緑化木として使用した場合は発生に貢献する可能性があります。

ゴマダラチョウ及びオオムラサキは根元にある落葉の中で幼虫が越冬します。

樹種名：ケヤキ（ニレ科）（学名 *Zelkova serrata*）

□ポイント

鎮守の森を代表する広葉樹です。ガイドライン表紙のケヤキは、箕輪町の木下の保育園隣接地にあり、地域のシンボルとなっています。ケヤキは、伊那市の市木でもあります。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 30m
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は早い
- 萌芽力 萌芽力は強い
- 樹形 卵型（箒状）
- 葉の特徴 互生し、鋭尖で卵状披針形で基部は浅心形で薄質。凸頭鋸葉を持つ
- 幹の特徴 樹皮は灰褐色または灰白色は点紋班があり、老木は樹皮が鱗片状に剥離
- 花の特徴 雄花は新枝の下部に束生雌花は新枝の葉腋に単生
- 果実の特徴 淡褐色小堅質、背面に角稜がある
- 根の特徴 浅根性で太い水平根と小径根が網目状に発達する。内生菌根を持つ

□環境特性

- 土壌 堅密土壌に耐える。肥沃地がよい
- 耐陰性 やや日陰に耐える
- 耐乾湿性 中
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 中
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 弱い
- 耐塩性 中
- 環境指標 環境悪化の指標になり得る

□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発生根は良好、移植は容易
- 整枝・せん定 整枝・せん定に耐える
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 ニレハムシ、アカアシノミゾウムシ、ヤノナミガタチビタムシ、ニレチョウレジハバチ、アブラムシ類など

□生物多様性への貢献

アカタテハ（秋）（里山の蝶）の食草となります



樹種名：ハルニレ（ニレ科）（学名 *Ulmus davidiana* var. *japonica*）

□ポイント

ニレ科の落葉高木で、英名をエルムと言います。種子（果実）は6月には熟し、翼があるため風にひらひらと舞います。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 30m
- 景観特性 公園樹、街路樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は早い。
- 萌芽力 萌芽力は強い。
- 樹形 卵型（箒状）
- 葉の特徴 互生し、急鋭尖頭の広倒卵形で、左右不斉で重鋸歯を持つ
- 幹の特徴 樹皮は暗灰褐色で樹幹にやや深い割れ目があり、枝は分岐しやすい
- 花の特徴 黄緑色の両性花が前年枝上に房状につく
- 果実の特徴 倒卵形の広い翼をもつ翅果
- 根の特徴 浅根性で中小径の水平根、射出根が発達し、垂下根は過湿でも生育する

□環境特性

- 土壌 耐アルカリ性、耐湿性
- 耐陰性 中
- 耐乾湿性 乾燥に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 弱い
- 耐塩性 強い
- 環境指標 環境悪化の指標になり得る

□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、落葉時の移植は容易
- 整枝・せん定 せん定せずに樹形が整う
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 ニレノキクイムシ、穿孔性害虫、マイマイガ、枝枯病、うどんこ病、斑点病

□生物多様性への貢献

ヒオドシチョウ、アカタテハ（以上、里山の蝶）、カラスシジミ、シータテハ（高原の蝶）などの食草となります。



樹種名：ホオノキ（モクレン科）（学名 *Magnolia hypoleuca*）

□ポイント

万葉集に、天皇や天皇の祖先がホオの葉を筒状に折って酒を飲んだと詠まれるなど、古くから、様々な活用されてきました。葉には芳香があり、木曾谷などでは、朴葉巻として利用されます。「万葉集」に歌われるなど古くから親しまれています。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 20m.
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は早い
- 萌芽力 萌芽力は強い
- 樹形 卵型（箒状）
- 葉の特徴 互生し、広倒卵状楕円形でやや鈍頭、全緑で枝先に輪生状につく
- 幹の特徴 樹皮は灰白色で平滑で円形の皮目老木葉やや褐色をおびる
- 花の特徴 帯黄白色の 6～9 枚の花弁の花を枝先に上向きにつける
- 果実の特徴 長楕円形の集果で種子は紅色
- 根の特徴 中間性で中大径の水平根、射出根が発達する。内生菌根

□環境特性

- 土壌 やや湿気のある肥沃な土壌
- 耐陰性 やや日陰に耐えない
- 耐乾湿性 やや湿地に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 中
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 弱い
- 耐塩性 弱い



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、移植は容易
- 整枝・せん定 可能
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 病虫害は少ない。



樹種名：シデコブシ（モクレン科）（学名 *Magnolia stellata* Maxim.）

□ポイント

樹形が美しく、花には品位があります。和名は、細長くジグザグに開く花弁を神事に使う四手（しで）に見立てたからと言われています。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 10m.
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 長生は早い
- 萌芽力 萌芽力は弱い
- 樹形 卵型（箒状）
- 葉の特徴 互生し、長倒卵形で鈍頭で基部は楔形
- 幹の特徴 樹皮は灰白色で平滑枝を折ると少し芳香がある
- 花の特徴 白色の大型の香りのよい 12～18 枚の花弁を持つ
- 果実の特徴 長楕円形で心皮は凹凸不齊で種子は紅色
- 根の特徴 中間性で中大径の水平根、射出根が発達する

□環境特性

- 土壌 肥沃な深い土壌
- 耐陰性 やや日陰に耐えない
- 耐乾湿性 湿地に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 中
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 弱い
- 耐塩性 弱い
- 環境指標 環境悪化の指標になり得る



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、移植はやや容易
- 整枝・せん定 可能
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 うどんこ病、カイガラムシ類
- 管理上の注意点 寒肥に堆肥、腐葉土を施す。



樹種名：コブシ（モクレン科）（学名 *Magnolia praecocissima*）

□ポイント

古くから春を告げる花木として親しまれ、開花は、田打ち桜などの名で農作業を始める目安とされてきました。開花直前のつぼみを陰干ししたものは、鼻炎の薬とされています。演歌「北国の春」にも歌われる北国、長野の春を彩る樹木です。

- 生活形 落葉広葉樹 標高 20m
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は早い
- 萌芽力 萌芽力は弱い
- 樹形 卵型（箒状）
- 葉の特徴 互生し、広卵状楕円形で急鋭尖頭で波状縁をもつ
- 幹の特徴 樹皮は灰白色で平滑、白斑があり枝を折ると少し芳香がある
- 花の特徴 白色の大型の香りのよい6弁の花を3～4月に開花する
- 果実の特徴 長楕円形で心皮は凹凸不齊で種子は紅色
- 根の特徴 中間性で中大径の水平根、射出根が発達する

□環境特性

- 土壌 肥沃な深い土壌
- 耐陰性 やや日陰に耐える
- 耐乾湿性 湿地に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 中
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 弱い
- 耐塩性 弱い
- 環境指標 環境悪化の指標になり得る



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、移植はやや容易
- 整枝・せん定 可能
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 うどんこ病、カイガラムシ類
- 管理上の注意点 寒肥に堆肥、腐葉土を施す



樹種名：タムシバ（モクレン科）（学名 *Magnolia salicifolia* Maxim）

□ポイント

花は葉の出る前に咲き、葉は噛むと甘くて香りがあります。かむしばからタムシバの和名となったと言われています。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 15m
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 北信山地
- 生長 生長は早い。
- 萌芽力 萌芽力は早い
- 樹形 卵型（箒状）
- 葉の特徴 互生し、広披針形で急鋭尖頭で下面は白色。葉を噛むと甘く佳香有
- 幹の特徴 樹皮は灰色で直立分岐する。枝を折ると芳香がある
- 花の特徴 白色の大型の香りのよい6弁の花を3～4月に開花する
- 果実の特徴 長楕円形で心皮は凹凸不齊で種子は紅色
- 根の特徴 中間性で中大径の水平根、射出根が発達する

□環境特性

- 土壌 肥沃な深い土壌
- 耐陰性 やや日陰に耐える
- 耐乾湿性 やや乾燥に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 中
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 弱い
- 耐塩性 中
- 環境指標 環境悪化の指標になり得る



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、移植はやや容易
- 整枝・せん定 可能
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 うどんこ病、カイガラムシ類
- 管理上の注意点 寒肥に堆肥、腐葉土を施す



樹種名：ダンコウバイ（クスノキ科）（学名 *Lindera obtusiloba* Blume）

□ポイント

花がウメに似ており、材がビャクダン（檀香）のような香りがあるため、この和名がついたと言われています。花が黄色なのでウコンバナとも言われます。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 10m.
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は中
- 萌芽力 萌芽力は中
- 樹形 傘型
- 葉の特徴 互生し、浅く 3 裂し裂片は鈍頭で下面は帯白色
- 幹の特徴 樹皮は灰白色で平滑
- 花の特徴 葉が開く前に黄色の小花が花序に密集して開花する。
- 果実の特徴 小球形の黒紫色の多肉果

□環境特性

- 土壌 土地を選ばない
- 耐陰性 やや日陰に耐える
- 耐乾湿性 適湿地を好む
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐風性 強い
- 耐塩性 弱い

□施工及び管理性

- 移植の難易度 移植は容易
- 整枝・せん定 可能
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 アブラムシ類



樹種名：ヤマグルマ（ヤマグルマ科）（学名 *Trochodendron aralioides* ）

□ポイント

常緑の広葉樹で、樹皮からトリモチを作ったことから、別名トリモチノキとも呼ばれます。

- 生活形 常緑広葉樹 樹高 20m.
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長はやや遅い
- 萌芽力 萌芽力は中
- 樹形 傘型
- 葉の特徴 互生し、長柄の倒卵形で基部は楔形で上部だけに鈍鋸歯を持つ
- 幹の特徴 樹皮は初めは灰白色で平滑、老木は暗褐色
- 花の特徴 両性花で枝先に総状花序で黄緑色の花を着ける
- 果実の特徴 袋果が集まったダイヤモンド形をなしなかに細粒状種子が入っている
- 根の特徴 浅根性で中大径の水平根が発達する

□環境特性

- 土壌 埴壤土
- 耐陰性 やや日陰に耐える
- 耐乾湿性 やや乾燥に耐える
- 耐寒性 やや寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐塩性 中



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、移植はやや容易
- 整枝・せん定 可能
- 防寒の必要性 不要
- 管理上の注意点 生長が遅いので移植をたびたび行わない。



樹種名：カツラ（カツラ科）（学名 *Cercidiphyllum japonicum*）

□ポイント

樹形、新緑、紅葉とも美しく、街路樹として利用されています。材は、香りがよく耐久性があるので、建築、家具、鉛筆などの材料に使われたほか、碁盤、将棋盤にも使われます。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 20m.
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は中
- 萌芽力 萌芽力は強い
- 樹形 卵型（箒状）
- 葉の特徴 対生し、円心形で先がわずかに尖るか丸い。鈍鋸歯を持つ
- 幹の特徴 樹皮は暗灰褐色で縦に浅く裂け細片に剥離する
- 花の特徴 雄花は紅色。雌花も紅色葉の先立って開花する
- 果実の特徴 両尖の円柱形で5～6個が集まってつく
- 根の特徴 深根性で根株から中大径の垂下根が発達する

□環境特性

- 土壌 埴壤土
- 耐陰性 やや日陰に耐えない
- 耐乾湿性 湿地に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 小
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 弱い
- 耐塩性 中
- 環境指標 環境悪化の指標になり得る



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は極めて良好、移植は容易
- 整枝・せん定 可能
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 アメリカシロヒトリ、カイガラムシ類
- 管理上の注意点 夏場に施肥を行わない。（枯損の原因になる場合がある）



樹種名：ナツツバキ（ツバキ科）（学名 *Stewartia pseudocamellia*）

□ポイント

仏教の聖樹の沙羅双樹（さらそうじゅ）とは別種ですが、似ていたことから、別名シャラノキ（娑羅樹）とも呼ばれます。6月～7月初旬の朝に開花し、夕方には落花する一日花です。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 10m
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 東信、中信、南信山地
- 生長 生長は中
- 萌芽力 萌芽力は中
- 樹形 傘型
- 葉の特徴 互生し、楕円形、鋭尖頭で凸頭低平鋸歯をもつ、側脈が凹入有毛
- 幹の特徴 樹皮は黒赤褐色で外皮がよく剥離し、跡は平滑で耐紅褐色の斑紋状
- 花の特徴 白色のツバキに似た花が6～7月に開花する
- 果実の特徴 5～6角推状卵形の乾果。熟すと5つに裂ける
- 根の特徴 浅根性で中大径の水平根、射出根が発達する

□環境特性

- 土壌 埴壤土、耐アルカリ、耐堅密土壌
- 耐陰性 やや日陰に耐える
- 耐乾湿性 湿地に耐える
- 耐寒性 中
- 耐雪性 ある
- 耐火性 中
- 耐風性 ある
- 耐大気汚染性 弱い
- 耐塩性 強い



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、落葉時の移植は容易
- 整枝・せん定 可能（花芽に注意）
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 葉枯病、カイガラムシ類、食葉性蛾類



樹種名：ヒメシャラ（ツバキ科）（学名 *Stewartia monadelph*）

□ポイント

庭園樹として利用され、樹皮が平滑なことからサルスベリ（ミソハギ科）と間違えられますが、別種です。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 10m
- 景観特性 街路樹、庭園樹、濡景樹
- 自然分布 下伊那、木曽山地
- 生長 生長は中
- 萌芽力 萌芽力は中
- 樹形 傘型
- 葉の特徴 互生し、長楕円形、鋭尖頭で凸頭低平鋸歯をもつ、有毛
- 幹の特徴 樹皮は淡赤褐色で外皮がよく剥離し、跡は平滑で黄褐色の斑紋状
- 花の特徴 白色の2 cm程度の花が6～7月に開花する
- 果実の特徴 5～6角推状卵形の乾果。先端が細く、白毛あり
- 根の特徴 浅根性で中大径の水平根、射出根が発達する

□環境特性

- 土壌 耐堅密土壌
- 耐陰性 日陰に耐えない
- 耐乾湿性 敵潤地
- 耐寒性 中
- 耐雪性 ある
- 耐火性 中
- 耐風性 ある
- 耐大気汚染性 弱い
- 耐塩性 中



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、落葉時の移植は容易
- 整枝・せん定 可能（花芽に注意）
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 葉枯病、カイガラムシ類、食葉性蛾類



樹種名：マンサク（マンサク科）（学名 *Hamamelis japonica*）

□ポイント

和名の由来は、春一早く黄色の明るい花をつけるので「まず咲く」とも、開葉前に花をたくさんつけるので「満作」とも言われます。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 10m
- 景観特性 街路樹、庭園樹、池畔樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は中
- 萌芽力 萌芽力は中
- 樹形 卵型（箒状）
- 葉の特徴 互生し、菱形楕円形で鈍頭、上半部だけで波状鈍鋸歯をもつ
- 幹の特徴 樹皮は灰褐色で平滑、白斑があり光沢が多い
- 花の特徴 開葉前に糸の様な黄色の花弁をもつ花が開花する
- 果実の特徴 卵球形の果実で殻が裂開するとき音を発してはじき出す
- 根の特徴 浅根性で紐状の水平根が発達する

□環境特性

- 土壌 堅密土壌に耐える
- 耐陰性 やや日陰に耐えない
- 耐乾湿性 湿地に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 強い
- 耐風性 強い
- 耐塩性 中



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、移植は容易
- 整枝・せん定 冬場の刈り込みに耐える
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 うどんこ病、さび病
- 管理上の注意点 寒肥に堆肥、腐葉土を施す。

□生物多様性への貢献

ウラクロシジミ（高原の蝶）の食草となります。ただし、森林性の強い種であり、緑化木で発生する可能性はあまりありません。



樹種名：アンズ（バラ科）（学名 *Prunus armeniaca*）

□ポイント

古代に中国から渡来したもので、長野県の気候に適し、千曲市森地区の「あんずの森」は有名です。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 10m
- 景観特性 街路樹、庭園樹
- 自然分布 中国北部
- 生長 生長は早い
- 萌芽力 萌芽力の中
- 樹形 広卵形
- 葉の特徴 互生し、広卵形、急鋭尖頭で基部は円形。密鋸歯をもつ
- 幹の特徴 樹皮は赤色
- 花の特徴 白色から赤色 5 弁の花弁をもつ
- 果実の特徴 黄色の地に紅色の隈がある
- 根の特徴 中間性で中大径の水平根、射出根が発達する

□環境特性

- 土壌 堅密土壌に耐える
- 耐陰性 日陰に耐えない
- 耐乾湿性 敵潤地を好む
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 中
- 耐風性 中
- 耐塩性 中



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は不良、移植は容易
- 整枝・せん定 可能
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 食葉性害虫類、コスカシバ、吸汁性害虫、うどんこ病、ならたけ病など
- 管理上の注意点 寒肥に堆肥、腐葉土を施す

□生物多様性への貢献

オオミスジ（里山の蝶）の食草となります



樹種名：エドヒガン（バラ科）（学名 *Prunus pendula* ）

□ポイント

葉の出る前に、淡紅白色の花をつけます。伊那市高遠のコヒガンザクラは有名ですが、エドヒガンとマメザクラの雑種と言われています。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 20m
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 南信山地
- 生長 生長は早い
- 萌芽力 萌芽力は弱い
- 樹形 横枝型
- 葉の特徴 互生し、長楕円形で急鋭尖頭で鋭尖鋸歯をもつ。蜜線がある
- 幹の特徴 樹皮は灰褐色で浅く縦に割れる
- 花の特徴 白色から紅色まで変異が大きい。4～5月に開花する
- 果実の特徴 球形で黒紫色の多肉果
- 根の特徴 中間性で中大径の水平根、射出根が発達する

□環境特性

- 土壌 埴壤土
- 耐陰性 中、陽光地を好む
- 耐乾湿性 乾燥に耐える
- 耐寒性 中
- 耐雪性 ある
- 耐火性 小
- 耐風性 ある
- 耐大気汚染性 中
- 耐塩性 弱い
- 環境指標 環境悪化の指標になり得る



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、落葉期の移植は容易
- 整枝・せん定 一般的ではない（切った場合は保護剤塗布が必要）
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 うどんこ病、てんぐ巣病、こうやく病、ならたけ病など、コスカシバ、アメリカシロヒトリ、アブラムシ類、食用性害虫、ウソ
- 管理上の注意点 寒肥に堆肥、腐葉土を施す

□生物多様性への貢献

サクラ類は、6～7月頃にサクランボが実るので、これを食べに多くの野鳥がやって来ます。また、春の花の時期にも蜜を吸いに野鳥がやって来ます。その代表はメジロで、顔に花粉をつけながら花から花へと飛び回る姿をよく見かけることができます。また、ちょっと困ったことですが、膨らみかけた蕾をウソが食べに来ることもあります。

また、メスアカミドリシジミ（里山の蝶）の食草となります。ただし、森林性の強い種であり、緑化木で発生する可能性はあまりありません。

樹種名：オオヤマザクラ（バラ科）（学名 *Prunus sargentii*）

□ポイント

濃いピンク色の花が特徴で、飯綱町地藏久保の大本は、樹齢130年、毎年鮮やかな花を咲かせます。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 10～15m
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は早い。
- 萌芽力 萌芽力は強い
- 樹形 横枝型
- 葉の特徴 互生し、長楕円形で急鋭尖頭で重鋸歯をもつ。蜜線がある
- 幹の特徴 樹皮は紫褐色で光沢がある。太い幹では皮目が横に伸びる
- 花の特徴 淡紅色で5弁の花弁を持つ花で散計状に2～3個の花が4～5月に開花する
- 果実の特徴 1.3cm程度ので黒紫色の多肉果
- 根の特徴 中間性で中大径の射出根が発達する。内生菌根

□環境特性

- 土壌 埴壤土
- 耐陰性 中、陽光地を好む
- 耐乾湿性 やや乾燥に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 小
- 耐風性 ある
- 耐大気汚染性 弱い
- 耐塩性 弱い



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、落葉期の移植は容易
- 整枝・せん定 一般的ではない（切った場合は保護剤塗布が必要）
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 うどんこ病、てんぐ巣病、こうやく病、ならたけ病など、コスカシバ、アメリカシロヒトリ、アブラムシ類、食用性害虫、ウソ
- 管理上の注意点 寒肥に堆肥、腐葉土を施す。

□生物多様性への貢献

サクラ類は、6～7月頃にサクランボが実るので、これを食べに多くの野鳥がやって来ます。また、春の花の時期にも蜜を吸いに野鳥がやって来ます。その代表はメジロで、顔に花粉をつけながら花から花へと飛び回る姿をよく見かけることができます。また、ちょっと困ったことですが、膨らみかけた蕾をウソが食べに来ることもあります。

また、メスアカミドリシジミ（里山の蝶）の食草となります。ただし、森林性の強い種であり、緑化木で発生する可能性はあまりありません。

樹種名：カスミザクラ（バラ科）（学名 *Prunus verecunda*）

□ポイント

ヤマザクラよりやや遅れて、白色または淡紅白色の 5 弁花を葉と同時に開きます。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 20m
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は早い
- 萌芽力 萌芽力は強弱
- 樹形 横枝型
- 葉の特徴 互生し、倒卵形で鋭尖頭。重鋸歯をもち有毛。蜜線がある
- 幹の特徴 樹皮は灰褐色または紫褐色で皮目がある
- 花の特徴 白色で 5 弁の花弁を持つ花で葉が開いてから、開花する
- 果実の特徴 球形で黒紫色の多肉果
- 根の特徴 中間性で中大径の射出根が発達する。内生菌根

□環境特性

- 土壌 埴壤土、堅密土壌に耐える
- 耐陰性 中、陽光地を好む
- 耐乾湿性 湿地に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 小
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 弱い
- 耐塩性 弱い



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、落葉期の移植は容易
- 整枝・せん定 一般的ではない（切った場合は保護剤塗布が必要）
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 うどんこ病、てんぐ巢病、こうやく病、ならたけ病など、コスカシバ、アメリカシロヒトリ、アブラムシ類、食用性害虫
- 管理上の注意点 寒肥に堆肥、腐葉土を施す。

□生物多様性への貢献

サクラ類は、6～7月頃にサクランボが実るので、これを食べに多くの野鳥がやって来ます。また、春の花の時期にも蜜を吸いに野鳥がやって来ます。その代表はメジロで、顔に花粉をつけながら花から花へと飛び回る姿をよく見かけることができます。また、ちょっと困ったことですが、膨らみかけた蕾をウソが食べに来ることもあります。

また、メスアカミドリシジミ（里山の蝶）の食草となります。ただし、森林性の強い種であり、緑化木で発生する可能性はあまりありません。

樹種名：ナナカマド（バラ科）（学名 *Sorbus commixta*）

□ポイント

秋の紅葉と赤熟した果実が美しく、街路などに利用されています。和名は、七回かまどに入れても燃え残るくらい燃えにくいことに由来します。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 10m
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は遅い
- 萌芽力 萌芽力の中
- 樹形 卵型（箒状）
- 葉の特徴 互生し、5～7対の小葉に細鋸歯がある奇数羽状複葉
- 幹の特徴 樹皮は帯暗褐色でやや粗面、特有の匂いがあり、細皮目がある
- 花の特徴 白色の小型の花が多数密に着生する
- 果実の特徴 球形で朱紅色の多肉果が密に着生する
- 根の特徴 浅根性で中大径の垂下根、射出根が広がる

□環境特性

- 土壌 土質を選ばない
- 耐陰性 やや日陰に耐える
- 耐乾湿性 やや乾燥に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 小
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 中
- 耐塩性 中



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は不良、落葉期の移植は容易
- 整枝・せん定 可能
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 うどんこ病、カイガラムシ類、ハバチ類
- 管理上の注意点 寒肥に堆肥、腐葉土を施す

□生物多様性への貢献

冬の朝、雪の積もったナナカマドの赤い実をついばむために、ツグミ、ヒヨドリ、ルリビタキなどの野鳥が集まります。年によっては、キレンジャクも群れで集まることがあります。

樹種名：アズキナシ（バラ科）（学名 *Sorbus alnifolia*）

□ポイント

春に白い花を咲かせ、秋には赤い小さなアズキほどの果実をつけます。和名はこの実に由来します。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 15m
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長はやや早い
- 萌芽力 萌芽力は中
- 樹形 卵型（箒状）
- 葉の特徴 互生し、倒卵形で急鋭尖頭、重鋸歯をもつ。葉脈が凹入
- 幹の特徴 樹皮は黒褐色でやや平滑、白色の皮目が散点する
- 花の特徴 白色の5弁の花が2～3個集まって5～6月に開花する
- 果実の特徴 楕円体で紅色、やや白粉を帯びる
- 根の特徴 浅根性で中小径の水平根が地表部に集中する

□環境特性

- 土壌 肥沃な土壌、耐アルカリ性
- 耐陰性 やや日陰に耐える
- 耐乾湿性 やや乾燥に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 小
- 耐風性 ある

□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は不良、落葉期の移植は容易
- 整枝・せん定 可能
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 赤星病



樹種名：カリン（バラ科）（学名 *Chaenomeles sinensis*）

□ポイント

花・果実とも楽しめ、新緑、紅葉が美しいため庭木として利用されます。語呂合わせで「金は貸すが借りない」の縁起を担ぎ、庭の表にカリンを植え、裏にカシノキを植えると商売繁盛に良いとも言われます。諏訪湖畔のカリンはマルメロです。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 10m
- 景観特性 公園樹、庭園樹、街路樹
- 自然分布 中国原産
- 生長 生長は早い
- 萌芽力 萌芽力は弱い
- 樹形 傘型
- 葉の特徴 互生し、倒卵状楕円形で鈍頭。腺状細鋸歯をもつ
- 幹の特徴 樹皮は灰緑褐色で雲紋状紋があり平滑
- 花の特徴 淡紅色の花を枝先につける
- 果実の特徴 楕円形で黄色の大型の多肉果、芳香がある
- 根の特徴 中間性で中径の水平根が発達する

□環境特性

- 土壌 壤土
- 耐陰性 やや日陰に耐える
- 耐乾湿性 敵潤地を好む
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 弱い
- 耐大気汚染性 中
- 耐塩性 中



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は不良、移植はやや容易
- 整枝・せん定 冬場に徒長枝、胴吹き芽は付け根から切る
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 アブラムシ類
- 管理上の注意点 寒肥に堆肥、腐葉土を施す



樹種名：オトメリンゴ（バラ科）（学名 *Malus pumila* × *Malus baccata* ?）

□ポイント

園芸的に交雑させてつくられた品種です。アルプス乙女は、松本市の波田腰氏が「紅玉」と「ふじ」の混植園で発見し、昭和 49 年頃に命名された品種です。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 10m
- 景観特性 街路樹
- 自然分布 果実園芸種
- 生長 生長は早い
- 萌芽力 萌芽力は弱い
- 樹形 卵型
- 葉の特徴 互生し、広楕円形で急鋭尖頭でふぞろいの小鋸歯をもつ
- 幹の特徴 紫黒色の樹皮を持つ
- 花の特徴 白色に紅色帯びた 5 弁の花
- 果実の特徴 垂球形で赤色の多肉果で両端が凹入する
- 根の特徴 中間性で中大径の水平根、射出根が発達する

□環境特性

- 土壌 砂質壤土
- 耐陰性 日陰に耐えない
- 耐乾湿性 敵潤地をこのむ
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 小
- 耐塩性 中



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、落葉期の移植は容易
- 整枝・せん定 冬場に充実した短枝を切ると花つきが良くなる
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 穿孔性害虫、アブラムシ類などの病害虫の発生が多い
- 管理上の注意点 寒肥に堆肥、腐葉土を施す

樹種名：キハダ（ミカン科）（学名 *Phellodendron amurense*）

□ポイント

皮からコルク質を取り除いて乾燥させたものは、生薬の黄檗（おうばく、黄柏）として知られ、木曾谷の百草（ひゃくそう）丸は、古くから胃腸薬や腹痛の妙薬として用いられています。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 25m
- 景観特性 並木、緑陰樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は早い
- 萌芽力 萌芽力は弱い
- 樹形 卵型（箒状）
- 葉の特徴 対生し、2～6対の細鈍鋸歯の小葉の奇数羽状複葉
- 幹の特徴 樹皮は淡黄褐色でコルク質が発達し、縦溝がある。内皮は黄色
- 花の特徴 黄緑色の球形の多肉果
- 果実の特徴 青黒色の球形の多肉果
- 根の特徴 深根性で中大径の水平根、垂下根が発達する。内生菌根

□環境特性

- 土壌 肥沃な深い土壌
- 耐陰性 やや日陰に耐えない
- 耐乾湿性 やや湿地に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 小
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 強い
- 耐塩性 中



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、落葉期の移植は容易
- 整枝・せん定 可能
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 さび病、シンジュサン、アブラムシ類、スス病

□生物多様性への貢献

冬の食べ物が少ない時期には、キハダの実（オオマシコ）は野鳥たちにとって、とても重要な食べ物となります。場所や年によっては、胸から腹にかけて鮮やかな赤色をした珍しいオオマシコが食べにやって来ることもあります。

また、アゲハチョウ（稀）（市街地の蝶）、カラスアゲハ（稀）、ミヤマカラスアゲハ（以上、高原の蝶）の食草となります。

樹種名：ハナノキ（カエデ科）（学名 *Acer pycnanthum*）

□ポイント

日本の固有種で、長野県、愛知県、岐阜県、滋賀県の四県にのみ自生しています。最近では街路樹や公園樹などに利用されています。深紅色の花が美しいので、「花の木」とも言われます。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 30m
- 景観特性 公園樹、庭園樹、街路樹
- 自然分布 下伊那、木曽南部
- 生長 生長は早い
- 萌芽力 萌芽力は中
- 樹形 傘型
- 葉の特徴 対生し、卵形で3浅裂または浅裂せず円脚、欠刻状細鋸歯
- 幹の特徴 樹皮は帯白灰褐色斑点状の皮目が著しい
- 花の特徴 雄花は多数集まり、真紅色で美しい
- 果実の特徴 翅角で翅角は直角
- 根の特徴 浅根性

□環境特性

- 土壌 肥沃土
- 耐陰性 やや日陰に耐える
- 耐乾湿性 やや湿地に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 小
- 耐大気汚染性 小

□施工及び管理性

- 移植の難易度 移植は容易
- 整枝・せん定 可能
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 うどんこ病、カイガラムシ類、アブラムシ類、穿孔性害虫、胴枯病、枝枯病、ならたけ病
- 管理上の注意点 寒肥に堆肥、腐葉土を施す



樹種名：オオモミジ（カエデ科）（学名 *Acer amoenum*）

□ポイント

葉はイロハモミジに似ていますが、やや大きく、掌状に7中裂、まれに9裂します。この園芸品種にオオサカズキやノムラがあります。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 20m
- 景観特性 公園樹、庭園樹、街路樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は中
- 萌芽力 萌芽力は中
- 樹形 円型
- 葉の特徴 対生し、円形で7～9掌状中裂し、裂片は細鋸歯をもつ
- 幹の特徴 樹皮は淡灰褐色で平滑
- 花の特徴 散房状の花序が若枝の先に下垂する。淡紅色
- 果実の特徴 翅角で翅角は160から180度
- 根の特徴 浅根性で小中径の水平根、射出根が発達する。内生菌根

□環境特性

- 土壌 肥沃土やや堅密な土壌に耐える
- 耐陰性 陽光地を好む
- 耐乾湿性 やや湿地に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 小
- 耐風性 ある
- 耐大気汚染性 小
- 耐塩性 中弱



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、落葉時の移植はやや容易
- 整枝・せん定 可能（刃物は使わず手で折る）
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 うどんこ病、カイガラムシ類、アブラムシ類、穿孔性害虫、胴枯病、枝枯病、ならたけ病
- 管理上の注意点 寒肥に堆肥、腐葉土を施す

□生物多様性への貢献

ミスジチョウ（高原の蝶）の発生に貢献する可能性があります。

なお、ミスジチョウは、住宅地の庭に植栽されたイロハモミジなどにも発生します。

樹種名：ハウチワカエデ（カエデ科）（学名 *Acer japonicum*）

□ポイント

メイゲツカエデともいわれ、葉は円心形で、掌状に7～9裂します。果実は、2翼が鈍角につきます。

■生活形	落葉広葉樹 樹高 10m
■景観特性	公園樹、庭園樹、街路樹
■自然分布	県内山地
■生長	生長は中
■萌芽力	萌芽力は中
■樹形	球型
■葉の特徴	対生し、円形で9～11掌状浅裂し、裂片欠刻状鋸歯をもつ
■幹の特徴	樹皮は灰青色で平滑
■花の特徴	散房状の花序が若枝の先に下垂する。暗紅色
■果実の特徴	翅角で翅角は鈍角または水平
■根の特徴	浅根性で中大径の水平根、射出根が発達する。内生菌根

□環境特性

■土壌	肥沃な深い土壌
■耐陰性	陽光地を好む
■耐乾湿性	やや湿地に耐える
■耐寒性	寒さに強い
■耐雪性	ある
■耐火性	小
■耐風性	強い
■耐大気汚染性	弱い
■耐塩性	中

□施工及び管理性

■移植の難易度	根回しによる発根性は良好、移植は容易
■整枝・せん定	可能
■防寒の必要性	不要
■病虫獣害	うどんこ病、カイガラムシ類、アブラムシ類、穿孔性害虫、胴枯病、枝枯病、ならたけ病
■管理上の注意点	寒肥に堆肥、腐葉土を施す



樹種名：ウリハダカエデ（カエデ科）（学名 *Acer rufinerve*）

□ポイント

樹皮は、黒緑色、枝はなめらかで、緑色に黒班があり、和名は、マクワウリのはだに似ていることに由来します。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 15m
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は早い
- 萌芽力 萌芽力は中
- 樹形 傘型
- 葉の特徴 対生し、卵形で3浅裂または5浅裂円脚、粗鋸歯または細鋸歯
- 幹の特徴 樹皮は帯黒緑色で灰色の斑点があり、枝は緑色、マクワウリの皮に似る
- 花の特徴 花序は下垂し、花は多数集まり淡緑色
- 果実の特徴 翅角で翅角はやや直角
- 根の特徴 浅根性で小中径の射出根、水平根が発達する。菌根あり

□環境特性

- 土壌 肥沃土
- 耐陰性 やや日陰に耐える
- 耐乾湿性 やや湿地に耐える
- 耐寒性 やや寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 小
- 耐大気汚染性 弱い
- 耐塩性 中



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、移植は容易
- 整枝・せん定 可能
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 うどんこ病、カイガラムシ類、アブラムシ類、穿孔性害虫、胴枯病、枝枯病、ならたけ病
- 管理上の注意点 寒肥に堆肥、腐葉土を施す

樹種名：イタヤカエデ（カエデ科）（学名 *Acer mono*）

□ポイント

葉はほぼ円形で、掌状に 3～9 裂します。他の多くのカエデ類と異なり、裂片の縁（へり）は全縁で鋸歯（きょし）と言われる毛がありません。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 30m
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は早い。
- 萌芽力 萌芽力は中
- 樹形 球型
- 葉の特徴 対生し、円形で 5～7 掌状深裂または浅裂し、裂片は全縁
- 幹の特徴 樹皮は暗青色で平滑、老木は縦裂する。
- 花の特徴 散房状の花序が若枝の先につく。花は黄緑色または淡黄色
- 果実の特徴 翅角で、翅角は直角、鈍角、鋭角
- 根の特徴 浅根性で中大径の水平根、射出根が発達する。

□環境特性

- 土壌 肥沃な深い土壌
- 耐陰性 陽光地を好む
- 耐乾湿性 やや湿地に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 小
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 小
- 耐塩性 弱い



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は不良、落葉時の移植は比較的容易
- 整枝・せん定 可能
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 うどんこ病、カイガラムシ類、アブラムシ類、穿孔性害虫、胴枯病、枝枯病、ならたけ病
- 管理上の注意点 寒肥に堆肥、腐葉土を施す

□生物多様性への貢献

ミスジチョウ（高原の蝶）の発生に貢献する可能性があります。
なお、ミスジチョウは、住宅地の庭に植栽されたイロハモミジなどにも発生します。

樹種名：メグスリノキ（カエデ科）（学名 *Acer nikoense*）

□ポイント

カエデ科の落葉広葉樹で、千里眼の木、長者の木、花楓など様々な名称で呼ばれます。メグスリノキ（目薬の木）は、その名の通り、江戸時代から点眼薬や洗眼薬などに樹皮を煎じて利用したためです。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 20m
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長はやや早い
- 萌芽力 萌芽力は中
- 樹形 球型
- 葉の特徴 対生し、3出複葉で低い鋸歯がある。下面に粗毛がある
- 幹の特徴 樹皮は帯灰色で平滑、幼枝には軟毛が密生する。
- 花の特徴 花序は3出で腋生する。花は白色または黄白色
- 果実の特徴 翅果で翅は弧状。翅角は鋭角

□環境特性

- 土壌 肥沃地
- 耐陰性 陽光地を好む
- 耐乾湿性 湿地に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 小
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 小

□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しをすれば移植は容易
- 整枝・せん定 可能
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 うどんこ病、カイガラムシ類、アブラムシ類、穿孔性害虫、胴枯病、枝枯病、ならたけ病
- 管理上の注意点 寒肥に堆肥、腐葉土を施す。



樹種名：トチノキ（トチノキ科）（学名 *Aesculus turbinata*）

□ポイント

果実は、嘗て山村においてヒエやドングリと共に主食の一つとして重宝され、各地に残る栃谷や栃ノ谷などの地名がその名残と言われています。近縁種のセイヨウトチノキはフランス語でマロニエと言われ、ヨーロッパの街路樹として有名です。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 25m
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は早い
- 萌芽力 萌芽力は弱い
- 樹形 卵型（箒状）
- 葉の特徴 対生し、掌状複葉で小葉は長倒卵形鈍状重鋸歯で脈上、脈腋は有毛
- 幹の特徴 樹皮は灰褐色で初めは平滑
- 花の特徴 白色に帯紅色のぼかしのある小花が集まってつける
- 果実の特徴 倒卵球形で3裂する乾果で種子は光沢のある赤褐色と紅色
- 根の特徴 深根性で中大径の垂下根、射出根が発達する。外生菌根

□環境特性

- 土壌 湿り気のある肥沃な土壌
- 耐陰性 やや日陰に耐える
- 耐乾湿性 湿地に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 弱い
- 耐塩性 中

□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発生根は良好、落葉期の移植は容易
- 整枝・せん定 可能
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 しろかび病、カイガラムシ類、クスサン
- 管理上の注意点 寒肥に堆肥、腐葉土を施す

□生物多様性への貢献

スギタニルリシジミの食草（花）（高原の蝶）となります。ただし、森林性の強い種であり、緑化木で発生する可能性はあまりありません。



樹種名：ソヨゴ（モチノキ科）（学名 *Ilex pedunculosa*）

□ポイント

初夏に白い小さな花をつけ、果実は秋に赤く熟します。公園木や庭木として利用され、和名は、風に葉がそよぐ木という意味とされています。

- 生活形 常緑広葉樹 樹高 10m
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は早い
- 萌芽力 萌芽力は強い
- 樹形 円筒型
- 葉の特徴 互生し、卵状楕円形、急鋭尖頭で全縁波状縁をもつ。光沢がある
- 幹の特徴 樹皮は灰黒色で枝は灰色ときに小枝の基部にコブ状隆がある
- 花の特徴 雄花は多数集合して開花し、雌花は葉腋に単生する。淡黄白色
- 果実の特徴 球形で赤色の多肉果
- 根の特徴 浅根性で中大径の水平根、射出根が発達する

□環境特性

- 土壌 土壌を選ばない
- 耐陰性 やや日陰に耐えない
- 耐乾湿性 やや乾燥に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 強い
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 弱い
- 耐塩性 中

□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発生根は良好、落葉期の移植は容易
- 整枝・せん定 強いせん定が可能
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 カイガラムシ類、ミカンコナジラミ、褐斑病



樹種名：アオハダ（モチノキ科）（学名 *Ilex macropoda*）

□ポイント

木肌が青いところから名が付けられたとされていますが、一番外側の樹皮ではなく、その内側の樹皮が緑色をしているためアオハダと呼ばれています。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 10m
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は早い
- 萌芽力 萌芽力は弱い
- 樹形 卵型（箒状）
- 葉の特徴 互生し、楕円形で短鋭尖頭。下面の脈上に軟毛をもち、鈍鋸歯
- 幹の特徴 樹皮は帯褐暗色で平滑、内皮が青緑色
- 花の特徴 雄花は多数集まって着生する。雌花は緑白色
- 果実の特徴 尖頭球形で紅色の多肉果
- 根の特徴 浅根性で中大径の水平根、射出根が発達する

□環境特性

- 土壌 土壌を選ばない
- 耐陰性 やや日陰に耐えない
- 耐乾湿性 やや乾燥に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐風性 強い
- 耐塩性 中

□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発生根は良好、落葉期の移植は比較的容易
- 整枝・せん定 弱い
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 黒紋病
- 管理上の注意点 寒肥に堆肥、腐葉土を施す



樹種名：シナノキ（シナノキ科）（学名 *Tilia japonica*）

□ポイント

初夏に淡黄色の小さな花をつけ、柑橘系の香りがします。松本市大名町通りの街路樹は有名で、長野市の市木でもあります。信濃は、古く「科野」と記しましたが、シナノキ（繊維）を多く産出したからだという説があります。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 30m
- 景観特性 公園樹、庭園樹、街路樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は早い
- 萌芽力 萌芽力は強い
- 樹形 円蓋型
- 葉の特徴 互生し、歪心円型で布整細鋸歯。下面の脈、脈基は有毛、急鋭尖頭
- 幹の特徴 樹皮は帯褐暗色で縦裂し粗い
- 花の特徴 散房状集散花序で黄白色で香りのよい花をつけ柄の基部に包葉有り
- 果実の特徴 灰褐色の卵球形の乾果。単毛を密生する
- 根の特徴 浅根性で中大径の水平根、射出根が発達する

□環境特性

- 土壌 土壌、耐アルカリ性
- 耐陰性 陽光地を好む
- 耐乾湿性 湿地、乾燥に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 小
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 中
- 耐塩性 中



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発生根は良好、落葉期の移植は容易
- 整枝・せん定 可能
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 ビロード病、紅粒がんしゅ病
- 管理上の注意点 寒肥に堆肥、腐葉土を施す。

樹種名：オオバボダイジュ（シナノキ科）（学名 *Tilia maximowicziana*）

□ポイント

むかし、仏陀が大樹の下に座り悟りを得たということで菩提樹と呼ばれたインドボダイジュはクワ科で、本種とは別種です。しかしながら、葉の形が似ていたので寺院に植えられ、同じように呼ばれるようになりました。

■生活形	落葉広葉樹 樹高 20m
■景観特性	公園樹、庭園樹
■自然分布	北信、中信、東信山地
■生長	生長は早い
■萌芽力	萌芽力は中
■樹形	円蓋型
■葉の特徴	互生し、心円形で三角上鋭鋸齒、下面の脈は星状毛、急鋭尖頭
■幹の特徴	樹皮は厚く暗紫灰色でわずかに縦裂する
■花の特徴	散房状集散花序で黄白色の小型の香りのよい花を腋生する
■果実の特徴	散房形の乾果。黄褐色の軟毛が密生し、外面に5肋がある
■根の特徴	浅根性で中大径の水平根、射出根が発達する

□環境特性

■土壌	肥沃な土壌、耐アルカリ
■耐陰性	やや日陰に耐える
■耐乾湿性	やや湿地、やや乾燥に耐える
■耐寒性	寒さに強い
■耐雪性	ある
■耐火性	小
■耐風性	強い
■耐大気汚染性	中
■耐塩性	弱～中
■環境指標	環境悪化の指標になり得る



□施工及び管理性

■移植の難易度	根回しによる発生根は良好、落葉時の移植は容易
■整枝・せん定	可能
■防寒の必要性	不要
■病虫獣害	ビロード病、紅粒がんしゅ病
■管理上の注意点	寒肥に堆肥、腐葉土を施す

樹種名：ヤマボウシ（ミズキ科）（学名 Benthamid japonica）

□ポイント

花は 6～7 月に咲き、淡黄色で小さく、多くが球状に集合（花序）し、その外側に大形で白色の総苞片が 4 枚あり、花卉のように見えます。花序を僧兵の頭に見立て、また白い総苞片を頭巾（ずきん）に見立てて山法師とも言われます。花・果実・紅葉と 3 回楽しめ、果実は食用となります。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 10m
- 景観特性 公園樹、庭園樹、街路樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は中
- 萌芽力 萌芽力は中
- 樹形 円筒型
- 葉の特徴 対生し、広卵形で鋭尖頭で全縁やや波うつ。脈は葉縁の沿って上向
- 幹の特徴 樹皮は暗朱褐色で不整に亀甲状に樹皮が剥離し、その跡が美しい
- 花の特徴 大型の白色の総苞が発達し花は淡黄色
- 果実の特徴 球形の小核果が多数集まった多肉果、赤色
- 根の特徴 浅根性で中大径の水平根、射出根が発達する

□環境特性

- 土壌 土地を選ばない
- 耐陰性 やや日陰に耐えない
- 耐乾湿性 乾燥に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 中
- 耐塩性 中



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発生根はやや良好、移植は容易
- 整枝・せん定 放任しても美しい樹形になる
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 うどんこ病、とうそう病、斑点病、褐色輪紋病、穿孔性害虫
- 管理上の注意点 寒肥に堆肥、腐葉土を施す

樹種名：コシアブラ（ウコギ科）（学名 *Eleutherococcus sciadophylloides*）

□ポイント

林道脇などの伐採された日当たりのよい明るい斜面に自生し、春先に伸びる独特の香りを持つ新芽は食用となります。幹を傷つけたときに得られる樹脂は、古来「金漆（ごんぜつ）」と呼ばれ、工芸用塗料として珍重されました。コシアブラの和名は「漉し油」を意味し、この樹脂の利用に由来します。

■生活形	落葉広葉樹 樹高 20m
■景観特性	公園樹、庭園樹
■自然分布	県内山地
■生長	生長は早い
■萌芽力	萌芽力の中
■樹形	傘型
■葉の特徴	互生し、掌状複葉で小葉は長楕円形、刺状鋭鋸歯をもつ
■幹の特徴	樹皮は淡灰褐色
■花の特徴	当年枝に頂生し、複散状花序で淡緑黄色の花をつける
■果実の特徴	紫黒色の偏平球形の多肉果
■根の特徴	深根性で中大径の垂下根、射出根が発達する

□環境特性

■土壌	肥沃な通気性のよい土壌
■耐陰性	やや日陰に耐える
■耐乾湿性	乾燥地に耐える
■耐寒性	寒さに強い
■耐雪性	ある
■耐火性	中
■耐風性	強い
■耐大気汚染性	弱い
■耐塩性	弱～中



□施工及び管理性

■移植の難易度	根回しによる発生根はやや良好、移植は容易
■整枝・せん定	可能
■防寒の必要性	不要
■病虫獣害	アブラムシ類

樹種名：リョウブ（リョウブ科）（学名 *Clethra barbinervis*）

□ポイント

7～8 月、枝先に長さ 8～15 センチメートルの総状の小さな白色花を多数つけます。この、花序の形から「竜尾」がなまったのが和名の由来という説があります。樹皮が滑らかでサルスベリに似ています。若葉はゆでてあく出しすれば食用となります。

■生活形	落葉広葉樹 樹高 10m
■景観特性	庭園樹
■自然分布	県内山地
■生長	生長は早い
■萌芽力	萌芽力は弱い
■樹形	卵型（箒状）
■葉の特徴	枝頂に、広倒披針形の鋭鋸歯の葉が輪状に着生。微星状毛あり
■幹の特徴	樹皮は茶褐色で平滑、薄く樹皮がだらに剥がれる
■花の特徴	総状花序に白色の小型の花が集まって頂生する
■果実の特徴	偏球形の小型の乾果
■根の特徴	浅根性で中大径の水平根が著しく発達する

□環境特性

■土壌	土壌を選ばない
■耐陰性	日陰に耐えない
■耐乾湿性	乾燥に耐える
■耐寒性	寒さに強い
■耐雪性	ある
■耐風性	強い
■耐大気汚染性	強い
■耐塩性	中～強



□施工及び管理性

■移植の難易度	根回しによる発生根は良好、移植は容易
■整枝・せん定	可能
■防寒の必要性	不要
■病虫獣害	カイガラムシ類
■管理上の注意点	寒肥に堆肥、腐葉土を施す

□生物多様性への貢献

花には、蝶が吸蜜に集まります。



樹種名：エゴノキ（エゴノキ科）（学名 *Styrax japonica*）

□ポイント

花は5月頃、横枝から出た小枝の先端に房状に白い花を多数つけ、芳香があります。果皮に有毒なサポニンを多く含んでおり、和名は、果実を口に入れると、喉や舌を刺激してえぐい（えごい）ことに由来すると言われます。庭木などとして利用されますが、緻密で粘り気のある材は将棋の駒などの素材となります。

■生活形	落葉広葉樹 樹高 10m
■景観特性	公園樹、庭園樹
■自然分布	県内山地
■生長	生長は早い
■萌芽力	萌芽力は強い
■樹形	卵型（箒状）
■葉の特徴	互生し、狭長卵型で鋭尖頭で上半に波状鈍鋸歯をもつ
■幹の特徴	樹皮は暗褐色で平滑、老木は浅縦裂する。枝は細くジグザグ状
■花の特徴	当年枝に多数の白色の花をつけた総状花序が腋生、下垂する
■果実の特徴	卵円形で灰白色の乾果で下垂する
■根の特徴	浅根性で中大径の水平根が発達し細根は塊状で分布。内生菌根

□環境特性

■土壌	砂質壤土～埴質壤土、耐アルカリ
■耐陰性	日陰に耐えない。
■耐乾湿性	乾燥に耐える
■耐寒性	中
■耐雪性	ある
■耐火性	小
■耐風性	ある
■耐塩性	中



□施工及び管理性

■移植の難易度	根回しによる発生根は不良、移植はやや容易
■整枝・せん定	可能（切口には保護剤を塗布）
■防寒の必要性	不要
■病虫獣害	さび病、斑褐病、カイガラムシ類、穿孔性害虫
■管理上の注意点	寒肥に堆肥、腐葉土を施す

□生物多様性への貢献

果肉には毒があるこのエゴノキの実ですが、ヤマガラ、オナガ、ツグミ、アカハラ、キジバトなど多くの野鳥がやって来ます。ヤマガラなどは、嘴で器用に殻を割り、中の種子だけを取り出して食べます。

樹種名：トネリコ（モクセイ科）（学名 *Fraxinus japonica*）

□ポイント

4～5月、枝先に円錐（えんすい）の花序をつけ、細かい淡褐色の花を多数咲かせます。名前の由来はトネリコの樹皮に付着しているカイガラムシの一種イボタロウムシが分泌する蠟を動きが悪くなった敷居の溝に塗って動きを良くすることから<戸に塗る木>が訛って<トネリコ>と発音されるようになったと言われています。北欧の神話に登場する世界樹（ユグドラシル）は、近似種のセイヨウトネリコと言われており、最初の人間の男性がその流木から造られたとされています。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 20m
- 景観特性 公園樹、庭園樹、街路樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は早い
- 萌芽力 萌芽力は中
- 樹形 傘型
- 葉の特徴 対生し、広卵形で鈍鋸歯の小葉を2～3対もつ奇数羽状複葉
下面有毛。
- 幹の特徴 樹皮は帯黄灰色で平滑
- 花の特徴 散状花序で花は花冠は細長4片で白色、花弁をもたない
- 果実の特徴 倒披針形で鈍頭、褐色の翅果
- 根の特徴 深根性で中大径の垂下根、射出根が発達する。内生菌根

□環境特性

- 土壌 肥沃な深い土壌、耐アルカリ
- 耐陰性 やや日陰に耐える
- 耐乾湿性 湿地に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 強い
- 耐風性 ある
- 耐大気汚染性 弱い
- 耐塩性 弱～中
- 環境指標 環境悪化の指標になり得る

□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発生根は良好、移植は容易
- 整枝・せん定 可能
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 アメリカシロヒトリ、ハバチ類、ボクトウガ類、カイガラムシ類、うどんこ病、さび病、斑褐病、炭そ病

□生物多様性への貢献

ウラキンシジミ（高原の蝶）の食草となります。ただし、森林性の強い種であり、緑化木で発生する可能性はあまりありません。



樹種名：マルバノキ（マンサク科）（学名 *Disanthus cercidifolius*）

□ポイント

花は、紅褐色で、10～11月、葉腋（ようえき）から出た短枝に背中合わせで二個の花をつけます。和名は、葉が円いことと、マンサクに似て紅色であることから、ベニマンサクとも言われます。秋の紅葉が美しい樹種です。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 3m
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 下伊那、木曽地方山地
- 生長 生長は早い
- 萌芽力 萌芽力は中
- 樹形 卵型（箒状）
- 葉の特徴 互生し、円心形で鈍頭。基部は心形で全縁
- 幹の特徴 樹皮は灰褐色で平滑、白斑があり
- 花の特徴 10月に濃紅色の針状披針形の5枚の花弁が星状に開花する
- 果実の特徴 卵球形の果実で殻が裂開し種をはじき出す。（翌年秋成熟）

□環境特性

- 土壌 堅密土壌に耐える
- 耐陰性 やや日陰に耐えない
- 耐乾湿性 湿地に耐える
- 耐寒性 中
- 耐雪性 ある
- 耐火性 強い
- 耐風性 強い
- 耐塩性 中



□施工及び管理性

- 移植の難易度 移植は容易
- 整枝・せん定 可能
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 うどんこ病、カイガラムシ類
- 管理上の注意点 寒肥に堆肥、腐葉土を施す

樹種名：キハギ（マメ科）（学名 *Lespedeza buergeri*）

□ポイント

落葉低木で、樹高1～3m、花はヤマハギより小さく、淡黄白色で旗弁の中央部と翼弁が紫紅色を帯びます。和名は木萩と記されます。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 2m
- 景観特性 庭園樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は早い
- 萌芽力 萌芽力は強い
- 樹形 球型
- 葉の特徴 互生し、三小葉形の複葉で広楕円形、やや鋭頭の小葉
- 幹の特徴 樹皮は灰褐色でやや粗
- 花の特徴 白色に紫斑または紫の蝶型の花
- 果実の特徴 楕円形、褐色の鞘に入った乾果
- 根の特徴 中間性で中小径のむち状水平根が発達する。内生菌根、根粒菌

□環境特性

- 土壌 土壌を選ばない。耐アルカリ
- 耐陰性 日陰に耐えない
- 耐乾湿性 乾燥に耐える
- 耐寒性 寒さに強い。
- 耐雪性 ある
- 耐火性 小
- 耐風性 ある。
- 環境指標 環境悪化の指標になり得る



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、落葉期の移植は容易
- 整枝・せん定 強度のせん定に耐える
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 うどんこ病、さび病、マメコガネ、アブラムシ類

□生物多様性への貢献

キチョウ、ツバメシジミ（以上、河畔と郊外の蝶）の発生に貢献する可能性があります。



樹種名：ニシキギ（ニシキギ科）（学名 *Euonymus alatus*）

□ポイント

紅葉が美しく、モミジ、スズランノキとともに世界三大紅葉樹に数えられています。名前の由来は紅葉を錦に例えたことと言われています。庭木や生垣、盆栽に利用されます。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 2～3m
- 景観特性 公園樹、庭園樹、生け垣
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は早い
- 萌芽力 萌芽力は強い
- 樹形 球型
- 葉の特徴 対生し、倒卵形で鋭尖頭で鈍状微細鋸歯をもつ
- 幹の特徴 枝に褐色コルク質の稜状縦翼をもつ
- 花の特徴 淡黄緑色の小型の花が2～3つ集まって開花する
- 果実の特徴 球形で鮮赤色の多肉果
- 根の特徴 中間性で中小径の水平根、射出根が発達する

□環境特性

- 土壌 土壌を選ばない
- 耐陰性 やや日陰に耐える
- 耐乾湿性 やや乾燥に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 小
- 耐風性 ある
- 耐大気汚染性 弱～中
- 耐塩性 弱～中
- 環境指標 環境悪化の指標になり得る



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、落葉期の移植は容易
- 整枝・せん定 可能（強くはしない）
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 アブラムシ類、カイガラムシ類
- 管理上の注意点 寒肥に堆肥、腐葉土を施す

□生物多様性への貢献

紅葉したニシキギの小さな赤い実を、冬鳥として渡ってきたばかりのジョウビタキが時々啄ばみに来ます。ジョウビタキの他にもツグミ類、シジュウカラ類、メジロなども啄みに訪れます。

樹種名：マユミ（ニシキギ科）（学名 *Euonymus sieboldianus*）

□ポイント

マユミは老木になると、幹には縦の裂け目が目立つようになります。花は初夏、新しい梢の根本近くに薄い緑色の四弁の小花がつきます。果実は、小さく角ばった四裂の姿をし、色は品種により白、薄紅、濃紅と異なります。材質が強く、よくしなるため、古来より弓の材料として利用され、名前の由来にもなりました。伊勢物語 24 段に「梓弓真弓櫨弓年を経て我がせしがごとうるはしみせよ」という歌があります。

■生活形	落葉広葉樹 樹高 5～7 m
■景観特性	公園樹、庭園樹
■自然分布	県内山地
■生長	生長は早い。
■萌芽力	萌芽力は強い。
■樹形	球型
■葉の特徴	対生し、長楕円形で鋭尖頭で鈍状微細鋸歯をもつ
■幹の特徴	樹皮は帯褐灰色で不規則に浅し縦裂する。やや4稜の角茎
■花の特徴	淡緑色、緑白色の小型の4弁の花弁の花
■果実の特徴	倒三角状心形の淡紅色の多肉果
■根の特徴	中間性で中小径の水平根、射出根が発達する

□環境特性

■土壌	土壌を選ばない
■耐陰性	日陰に耐えない
■耐乾湿性	適湿をこのむ
■耐寒性	寒さに強い
■耐雪性	ある
■耐火性	中
■耐風性	強い
■耐大気汚染性	強い
■耐塩性	弱～中



□施工及び管理性

■移植の難易度	根回しによる発根性は良好、落葉期の移植は容易
■整枝・せん定	可能
■防寒の必要性	不要
■病虫獣害	うどんこ病、カイガラムシ類、食用性蛾類
■管理上の注意点	寒肥に堆肥、腐葉土を施す。

□生物多様性への貢献

マユミのピンク色の実は野鳥たちの大好物です。一番よく来るのはメジロですが、そのほかにもジョウビタキ、コゲラ、シジュウカラ類がよくきます。秋から初冬ぐらいの間、実が食べつくされてなくなるまで、野鳥が入れ替わりに現れます。

樹種名：ムクゲ（アオイ科）（学名 *Hibiscus syriacus* ）

□ポイント

花は、8～9月、葉腋（ようえき）に紫紅色の一重の花をつけます。ムクゲは古代中国では舜（しゅん）とよばれ、朝開き、夕しぼむ花の短さから、瞬時の花ととらえられていました。朝鮮では、一つの花は短命ですが、夏から秋に次々と咲き続けるので、無窮花（ムグンファ）と親しまれています。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 2 m
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 中国原産
- 生長 生長は早い
- 萌芽力 萌芽力は強い
- 樹形 円柱形
- 葉の特徴 互生し菱卵形で3浅裂し、不整の粗鋸歯がある
- 幹の特徴 樹皮は灰白色で枝は細長く出る
- 花の特徴 淡紫色、白色、白色底紅色等多く色があり5弁の大きな花
- 果実の特徴 卵球形の乾果
- 根の特徴 浅根性で中小径の射出根、垂下根発達する

□環境特性

- 土壌 土壌を選ばない
- 耐陰性 日陰に耐えない
- 耐乾湿性 適湿をこのむ
- 耐寒性 中
- 耐雪性 強くない
- 耐火性 小
- 耐風性
- 耐大気汚染性 強い
- 耐塩性 中～強
- 環境指標



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、落葉期の移植は容易
- 整枝・せん定 強い剪定に耐える
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 アブラムシ類、コウモリガ、白星病
- 管理上の注意点 寒肥に堆肥、腐葉土を施す

樹種名：エゾムラサキツツジ（ツツジ科）（学名 *Rhododendron dauricum*）

□ポイント

淡紅紫色の花をツツジ類では比較的早く咲かせます。土地への適応性は高く、様々な場に植栽されています。

■生活形	常緑広葉樹 樹高 3 m
■景観特性	庭園樹
■自然分布	北海道山地
■生長	生長は遅い中
■萌芽力	萌芽力は強い
■樹形	球型
■葉の特徴	互生し、長楕円形で鈍頭で上部に不明な波状鋸歯
■幹の特徴	樹皮は灰黒色で、若枝は有毛で円い腺鱗片がある
■花の特徴	紅紫色の漏斗状鐘形の花で、5 裂し有毛
■果実の特徴	腺鱗片蜜布で花が残った乾果

□環境特性

■土壌	酸性土壌に耐える
■耐陰性	日陰に耐えない
■耐乾湿性	乾燥に耐える
■耐寒性	寒さに強い
■耐雪性	ある
■耐火性	中
■耐風性	ある
■耐大気汚染性	中
■耐塩性	弱い



□施工及び管理性

■移植の難易度	根回しによる発根性は良好、落葉期の移植は容易
■整枝・せん定	花が終わった頃に製枝する
■防寒の必要性	不要
■病虫獣害	チャハマキ、シンクイムシ類、ツツジグンバイムシ、ハダニ類、ルリチョウレンジハバチ、褐斑病、さび病、灰色かび病、もち病、菌核病など

□生物多様性への貢献

場所によっては、コツバメ（里山の蝶）の発生に貢献する可能性があります

樹種名：ヤマツツジ（ツツジ科）（学名 *Rhododendron obtusum*）

□ポイント

日当たりの良い、アカマツ林の下などに育ち、朱赤色の花をつけます。冬には、葉の一部が残ります。

■生活形	半葉葉広葉樹 樹高 6 m
■景観特性	庭園樹
■自然分布	県内山地
■生長	生長は中
■萌芽力	萌芽力は強
■樹形	球型
■葉の特徴	互生し、長楕円形で鋭頭で全縁、輪生。葉は育毛、下面主脈上剛毛
■幹の特徴	樹皮は暗灰白色で時には白斑点入り平滑
■花の特徴	紅色の広漏斗状の花で、5 裂し正面の濃紅色の斑点
■果実の特徴	褐色の卵型の乾果。外面に剛毛
■根の特徴	浅根性で中小径の射出根が分岐する

□環境特性

■土壌	酸性土壌に耐える
■耐陰性	日陰に耐えない
■耐乾湿性	乾燥に耐える
■耐寒性	寒さに強い
■耐雪性	ある
■耐火性	中
■耐風性	ある
■耐大気汚染性	中
■耐塩性	弱い



□施工及び管理性

■移植の難易度	根回しによる発根性は良好、落葉期の移植は容易
■整枝・せん定	花が終わった頃に製枝する
■防寒の必要性	不要
■病虫獣害	チャハマキ、シンクイムシ類、ツツジグンバイムシ、ハダニ類、ルリチョウレンジハバチ、褐斑病、さび病、灰色かび病、もち病、菌核病など

□生物多様性への貢献

コツバメ（里山の蝶）の食草（花）となります。ただし、森林性の強い種であり、緑化木で発生する可能性はあまりありません。

樹種名：ミツバツツジ（ツツジ科）（学名 *Rhododendron dilatatum*）

□ポイント

紅紫色の花が美しく、花が終わってから葉が出ます。枝先に三枚の葉がつくことからこの名がつけました。南木曽町では、毎年、南木曽ミツバツツジ祭が開催されます。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 3 m
- 景観特性 庭園樹
- 自然分布 東信、南信、中信山地
- 生長 生長は中
- 萌芽力 萌芽力は強い
- 樹形 傘型
- 葉の特徴 枝頂に、広菱形の鋭尖頭で全縁の葉が3片が輪状に互生
- 幹の特徴 樹皮は帯褐色で無毛、幼枝は茶褐色でやや粘性がある
- 花の特徴 淡紅紫色の漏斗状の花で、5裂し下2片は深裂
- 果実の特徴 暗黒色の歪卵状楕円形の乾果
- 根の特徴 浅根性で中小径の水平根が分岐する

□環境特性

- 土壌 酸性土壌を好む
- 耐陰性 日陰に耐えない
- 耐乾湿性 乾燥に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐風性 ある
- 耐大気汚染性 中
- 耐塩性 弱い



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、落葉期の移植は容易
- 整枝・せん定 花が終わった頃に製枝する
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 チャハマキ、シンクイムシ類、ツツジグンバイムシ、ハダニ類、ルリチョウレンジハバチ、褐斑病、さび病、灰色かび病、もち病、菌核病など

□生物多様性への貢献

コツバメ（里山の蝶）の食草（花）となります。ただし、森林性の強い種であり、緑化木で発生する可能性はあまりありません。

樹種名：レンゲツツジ（ツツジ科）（学名 *Rhododendron japonicum*）

□ポイント

葉が開くのと前後して直径 5cm ほどのロート状でオレンジ色の花をつけます。東御市と群馬県嬬恋村の県境にある湯の丸高原の地蔵峠周辺は、約 60 万株のレンゲツツジの群生地として、天然記念物の指定を受けています。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 3 m
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は中
- 萌芽力 萌芽力は強い
- 樹形 球型
- 葉の特徴 互生し、長倒卵形で鋭頭で微鋸歯またはやや波状縁をもつ、有毛
- 幹の特徴 樹皮は褐色、枝は太く初め粗毛があり、無毛
- 花の特徴 橙赤色の漏斗状鐘型の花で、正面に斑点があり、5 裂し有毛。
- 果実の特徴 円柱状長楕円形で 5 室で縦に深い溝がある乾果。有毛
- 根の特徴 浅根性で中小径の水平根が疎生する。内生菌根。

□環境特性

- 土壌 酸性土壌を好む
- 耐陰性 日陰に耐えない
- 耐乾湿性 乾燥に耐え、やや湿地に耐える
- 耐寒性 寒さに強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 強い
- 耐風性 ある
- 耐大気汚染性 中
- 耐塩性 弱～中
- 環境指標 環境悪化の指標になり得る



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、落葉期の移植は容易
- 整枝・せん定 花が終わった頃に製枝する
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 チャハマキ、シンクイムシ類、ツツジグンバイムシ、ハダニ類、ルリチョウレンジハバチ、褐斑病、さび病、灰色かび病、もち病、菌核病など
- 管理上の注意点 寒肥に堆肥、腐葉土を施す。

□生物多様性への貢献

コツバメ（里山の蝶）の食草（花）となります。ただし、森林性の強い種であり、緑化木で発生する可能性はあまりありません。

樹種名：アセビ（ツツジ科）（学名 *Pieris japonica*）

□ポイント

早春、枝先に複総状の花序を垂らし、多くの白い花をつけます。有毒成分があることから、かつては、葉を煎じて殺虫剤として利用しました。馬酔木の和名は、馬が葉を食べると苦しむことからついたと言われます。

■生活形	常緑広葉樹 樹高 5～6 m
■景観特性	公園樹、庭園樹
■自然分布	南信山地
■生長	生長はやや遅い
■萌芽力	萌芽力は強い
■樹形	傘型
■葉の特徴	互生し、枝端に束生し倒披針形で上半部だけ鈍鋸歯または全縁
■幹の特徴	樹皮は帯黄褐色で薄く剥離する
■花の特徴	頂生総状花序で下垂し卵形白色の小型の花を多数つける
■果実の特徴	偏球形の褐色の乾果
■根の特徴	浅根性で中小径の射出根で主根より側根が分岐する

□環境特性

■土壌	土壌を選ばない
■耐陰性	やや日陰に耐える
■耐乾湿性	乾燥に耐える
■耐寒性	寒さに耐える
■耐雪性	ある
■耐火性	小
■耐風性	ある
■耐大気汚染性	強い
■耐塩性	中～強

□施工及び管理性

■移植の難易度	根回しによる発根性は不良、移植は容易
■整枝・せん定	可能（枝抜きによって行う）
■防寒の必要性	不要
■病虫獣害	ハマキガ、グンバイムシ、オオミズアオ、アザミウマ、カイガラムシ類、もち病、褐斑病
■管理上の注意点	寒肥に堆肥、腐葉土を施す

□生物多様性への貢献

コツバメ（里山の蝶）の食草（花）となります。ただし、森林性の強い種であり、緑化木で発生する可能性はあまりありません。



樹種名：コムラサキ（クマツヅラ科）（学名 *Callicarpa dichotoma*）

□ポイント

7～8月頃、葉の付け根に近いところから柄を出し、淡い紅紫色の小花を多数つけ、秋になると小さい紫色の果実がかたまって熟します。この果実が大変美しいことから、紫式部に例えた名前がついていますが、本当のムラサキシキブとは別種です。

- 生活形 落葉広葉樹 樹高 2 m
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 九州、四国、吸収山地
- 生長 生長は中
- 萌芽力 萌芽力は強い
- 樹形 盃型
- 葉の特徴 対生し、倒卵状楕円形で鋭尖頭で 1/3 より上方に鋸歯をもつ
- 幹の特徴 樹皮は暗紫色で枝は細長く出る
- 花の特徴 淡紫色小型の花が集まって開花する
- 果実の特徴 球形、紫藍色の多肉果が集まってつく
- 根の特徴 浅根性で中小径のひも状水平根が発達する

□環境特性

- 土壌 土壌を選ばない
- 耐陰性 日陰に耐えない
- 耐乾湿性 適湿をこのむ
- 耐寒性 中
- 耐雪性 ある
- 耐火性 小
- 耐風性 強い
- 耐大気汚染性 中
- 耐塩性 弱～中



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、移植は容易
- 整枝・せん定 強い剪定に耐える
- 防寒の必要性 不要
- 管理上の注意点 寒肥に堆肥、腐葉土を施す

□生物多様性への貢献

コムラサキは樹形が込んでいることから、ヒヨドリなど、身近な野鳥が巣をつくることがあります。紫色の小さな実もカワラヒワ、メジロ、ウグイス、スズメなどの小鳥が好みます。また、ツグミ、オナガ、シロハラなどの中型の野鳥も実を好んでよく訪れます。

樹種名：ガマズミ（スイカズラ科）（学名 *Viburnum dilatatum*）

□ポイント

花は、5～6月頃に、白い小さい花による花序をつけます。特有のにおいがあり、多くの虫が集まります。また、晩夏から秋にかけて小さな赤い果実をつけ、これを食用としたり、焼酎に漬けて果実酒としたりします。枝は折れにくいので道具類の柄（え）として利用され、名前はこれに由来し、ガマは鎌（かま）、ズミは酸っぱい実の意味とされています。

- 生活形 落葉広葉樹
- 景観特性 公園樹、庭園樹
- 自然分布 県内山地
- 生長 生長は中
- 萌芽力 萌芽力は中
- 樹形 盃型
- 葉の特徴 対生し、広倒卵形で短尖頭、心脚で葉柄頭近くに主脈左右に蜜腺あり
- 幹の特徴 樹皮は暗褐色
- 花の特徴 白色の小型の花が集まって開花する
- 果実の特徴 球形、紅色の多肉果が集まってつく
- 根の特徴 浅根性で中小径の水平根、射出根発達する

□環境特性

- 土壌 土壌を選ばない
- 耐陰性 日陰に耐えない
- 耐乾湿性 乾燥に耐える
- 耐寒性 強い
- 耐雪性 ある
- 耐火性 中
- 耐風性 ある
- 耐大気汚染性 中
- 耐塩性 中
- 環境指標



□施工及び管理性

- 移植の難易度 根回しによる発根性は良好、移植は容易
- 整枝・せん定 強い剪定はしない
- 防寒の必要性 不要
- 病虫獣害 うどんこ病、さび病、褐斑病、穿孔性害虫
- 管理上の注意点 寒肥に堆肥、腐葉土を施す

□生物多様性への貢献

ガマズミの赤い実は、オナガ、カワラヒワ、ヒヨドリ、ツグミ、ジョウビタキ、キジバトなど市街地や里山に生息する野鳥が好んで食べます。

また、コツバメ（里山の蝶）の食草（花）となります。ただし、森林性の強い種であり、緑化木で発生する可能性はあまりありません。

